

2025
1月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News

季刊版



■ OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

■ 70周年記念事業

<https://www.ocvb.or.jp/70th>

【観光客の皆様向け情報】

■ 沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
会長 下地 芳郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年、沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）は創立70周年を迎えました。7月の記念式典をはじめ、県内事業者や高校生・大学生と共に沖縄観光の未来を考えるイベントを実施し、また新たな観光大使の任命やAwich氏のグローバルアンバサダー就任など、沖縄観光の魅力を国内外に発信しました。ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。

OCVBが取り組んできた持続可能な観光「エシカルトラベル」はツーリズムEXPOジャパン2024で評価され、UN Tourism特別賞を受賞しました。さらに、泡盛を含む「日本の伝統的な酒づくり」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。国内市場が過去最高を記録し、海外市場も回復から成長へと進んでおり、沖縄観光は新しい時代へと入っています。

2025年は戦後80周年、「沖縄国際海洋博覧会」から50年、2000年のサミット開催から25年と、大きな節目の年であるとともに、沖縄国際文化祭の開催、夏の大型テーマパーク「ジャングリア」オープン、大阪では関西万博の開催と観光につながる大きな動きがある年となります。

今年は沖縄観光の成長のために、以下4つの取り組みが重要となります。まず、閑散期対策の強化です。「冬も沖縄、冬こそ沖縄へ」をテーマに魅力あるコンテンツの開発・発信が必要です。次に、国際観光の裾野の強化です。海外市場の拡大と受入体制の強化を図ります。さらに、持続可能な観光地の実現に向けて、沖縄の自然や文化を守り育てる取り組みも必要です。最後に、これらさまざまな取り組みを進めるためには、観光目的税の導入も大きな役割を果たします。観光業界だけでなく、県民を含めたすべての人々と議論し、OCVBの役割を強化しながら準備を進めます。

世界の観光をリードする沖縄を目指して、一緒に取り組んでいきましょう。

本年も引き続き、沖縄の観光振興に変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年1月



①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4～10月実績、11月～25年1月見通し)

		上期計	10月(実績)	11月(確定)	12月(予測)	10-12月	1月(予測)	2月(予測)	3月(予測)	1-3月計	24年度計	
2024年度	国内	空路	3,808,700	688,600	632,400	629,000	1,950,000	551,000	583,000		1,134,000	6,892,700
		海路	19,400	5,800	4,400	3,600	13,800	2,900	2,300		5,200	38,400
		合計	3,828,100	694,400	636,800	632,600	1,963,800	553,900	585,300	0	1,139,200	6,931,100
	海外	空路	726,900	124,000	117,900	131,000	372,900	136,000	125,000		261,000	1,360,800
海路		398,700	68,300	56,100	50,100	174,500	81,500	62,300		143,800	717,000	
合計		1,125,600	192,300	174,000	181,100	547,400	217,500	187,300	0	404,800	2,077,800	
国内・海外合計		4,953,700	886,700	810,800	813,700	2,511,200	771,400	772,600	0	1,544,000	9,008,900	
前年度比	国内	空路	105.0%	103.1%	106.2%	111.0%	106.6%	109.2%	101.8%	0.0%	31.6%	95.6%
		海路	52.6%	109.4%	258.8%	72.0%	115.0%	72.5%	143.8%	0.0%	25.4%	66.9%
		合計	104.5%	103.2%	106.6%	110.7%	106.6%	108.9%	101.9%	0.0%	31.6%	95.4%
	海外	空路	171.8%	157.2%	152.1%	147.2%	152.0%	146.4%	132.4%	0.0%	49.3%	142.9%
海路		364.4%	187.1%	412.5%	808.1%	309.9%	296.4%	123.6%	0.0%	71.3%	230.5%	
合計		211.4%	166.6%	191.0%	190.2%	181.4%	180.6%	129.4%	0.0%	55.4%	164.4%	
国内・海外合計		118.1%	112.5%	117.8%	122.0%	117.2%	122.6%	107.4%	0.0%	35.6%	105.6%	
19年度比	国内	空路	103.0%	111.9%	106.1%	111.1%	109.7%	103.6%	110.6%	0.0%	35.1%	99.5%
		海路	64.7%	103.6%	110.0%	53.7%	84.7%	131.8%	79.3%	0.0%	22.6%	72.5%
		合計	102.7%	111.9%	106.1%	110.5%	109.5%	103.7%	110.5%	0.0%	35.0%	99.3%
	海外	空路	78.6%	100.7%	120.4%	124.8%	114.4%	111.6%	241.8%	0.0%	52.0%	95.3%
海路		57.3%	63.6%	55.4%	64.7%	61.0%	113.8%	669.9%	0.0%	39.2%	67.4%	
合計		69.4%	83.4%	87.4%	99.3%	89.4%	112.4%	307.0%	0.0%	46.6%	83.4%	
国内・海外合計		92.6%	104.2%	101.5%	107.8%	104.4%	106.0%	130.7%	0.0%	37.5%	95.1%	

■概況

国内：

- 空路は前年と比べ、需要が堅調に推移している。県内各地でのスポーツイベントや春季キャンプ等もあり、今後も好調に推移すると予想される。
- 年末年始を含む堅調な旅行マインドに支えられ、東京・大阪などの幹線を中心に需要が堅調に推移している。
- 石垣宮古の県外直行便も好調に推移している。

海外：

- 空路は台北、韓国仁川、香港路線の需要が引き続き堅調に推移しており、12月以降も新規就航が予定されている。また、1月28日からは春節の連休もあり、多くの観光客が訪れることが予想される。
- 海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移しているものの、天候等の影響によるキャンセルの可能性はある。

■2024年暦年 入域観光客数

		2024年 予測	23年比	19年比
国内	空路	7,514,400	104.4%	104.8%
	海路	41,700	77.1%	67.8%
	合計	7,556,100	104.2%	104.5%
海外	空路	1,379,900	170.8%	82.0%
	海路	718,500	401.8%	57.6%
	合計	2,098,400	212.7%	71.6%
国内・海外 合計		9,654,500	117.2%	95.0%

11月28日公表時から、▲8.3万人となった。クルーズ船のトラブルや11月公表時には運航予定だったクルーズ船（主に中国発）が11件キャンセルとなったことが要因。

前年比は117.2%と大幅増である一方で、過去最高年の2019年比95.0%である。

過年度実績については、沖縄県の入域観光客概況をご確認ください。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年11月～25年1月見通し）

12月

国内

(空路) 62.9万人（23年12月対比 111.0%）と見込む。(海路) 3,600人（23年12月対比 72.0%）の見通し。
国内クルーズは7回寄港予定。（東京・那覇）うち1回は石垣港のみ寄港。

海外

(空路) 13.1万人（23年12月対比 147.2%）となる見通し。

台中 = 那覇路線

◆スターラックス航空：12月2日（月）新規就航（月・火・木・土）

釜山 = 那覇路線

◆イースター航空：12月19日（木）新規就航（デイリー）

クアラルンプール = 那覇路線 ※台北経由

◆パティックエアマレーシア：12月2日（月）～1月13日（月）週4便から週2便へ減便（水・日）

(海路) 5万人（23年12月対比808.1%）となる見通し。
中国（上海・蛇口・廈門）や香港などから、7回寄港予定。
うち2回は石垣港のみ寄港。

1月

国内

(空路) 55.1万人（24年1月対比109.2%）と見込む。(海路) 入域客数は2,900人（24年1月対比 146.4%）となる見通し。
国内クルーズは6回寄港予定。（横浜・那覇）うち1回は石垣港のみ寄港。

海外

(空路) 13.6万人（24年1月対比146.4%）となる見通し。

タイ（ドムアン） = 那覇路線 ※高雄経由

◆タイ・ライオンエア：1月21日（火）新規就航（火・木・土・日）

(海路) 8.1万人（24年1月対比296.4%）となる見通し。
香港や中国（上海・深圳）、韓国（仁川・釜山）などから15回寄港予定。
うち1回は石垣港のみ寄港。

2月

国内

(空路) 58.3万人（24年2月対比101.8%）と見込む。(海路) 2,300人（24年2月対比143.8%）となる見通し。
国内クルーズは1回寄港予定。（横浜）

海外

(空路) 12.5万人（24年2月対比 132.4%）となる見通し。(海路) 6.2万人（24年2月対比123.6%）となる見通し。
台湾（基隆）、中国（上海）、香港などから18回寄港予定。
うち3回は石垣港のみ寄港。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

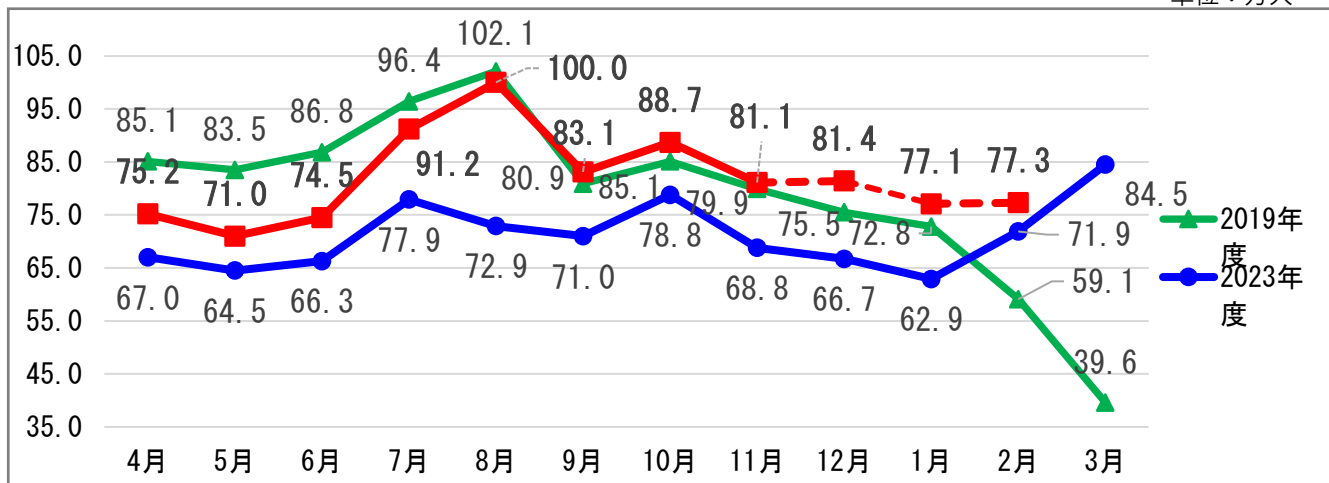
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4～10月実績、11月～25年1月見通し) グラフ

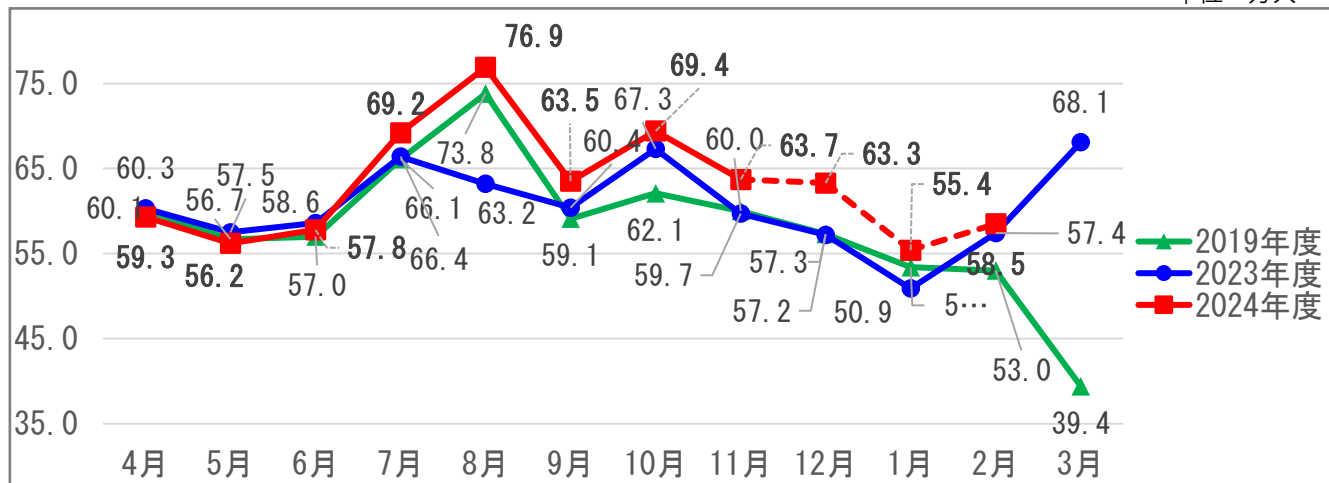
入域観光客 (国内・海外合計)

単位：万人



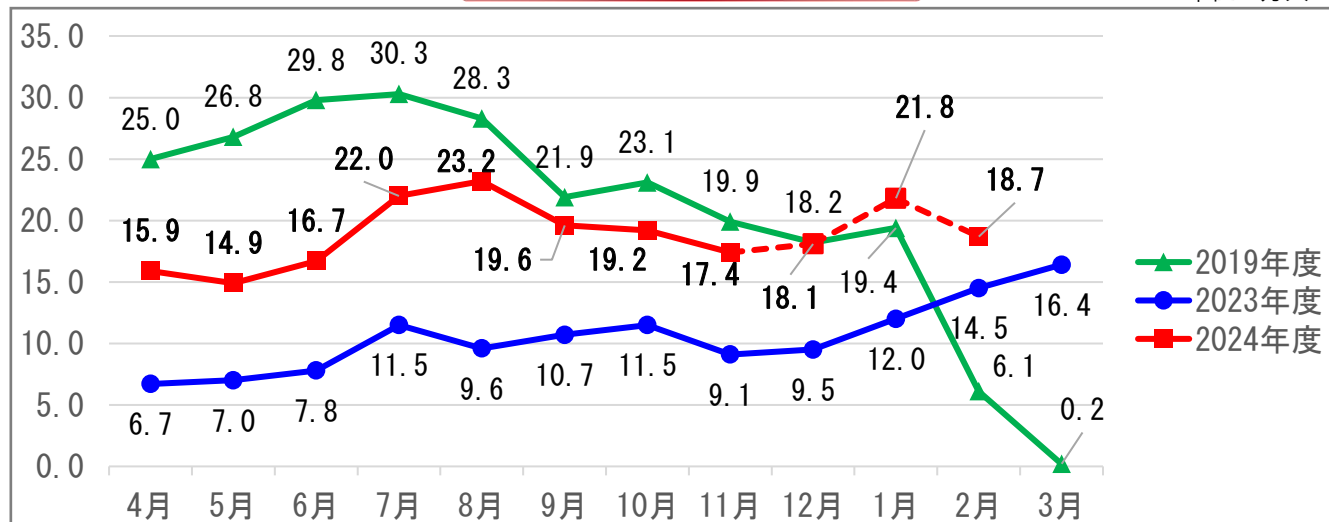
入域観光客 (国内)

単位：万人



入域観光客 (海外)

単位：万人



3. 入域数／航路別入域実績

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外	4-6月計		9月		7-9月計		上期計				10月		11月		年度計				
	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	対前年増減数	対前年増減数	ランキン	入域数	対前年増減数	入域数	対前年増減数	入域数	入域数シェア	対前年増減数	対前年増減数
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	ランキン	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
札幌	11,900	△100	4,200	0	0	0	24,600	0.5%	+500	17	4,400	100	4,000	△100	33,000	0.5%	+500	17	
仙台	11,000	△100	5,100	1,600	15,600	+5,100	26,600	0.5%	+5,000	8	5,900	1,600	5,400	700	37,900	0.6%	+7,300	8	
福島	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	300	300	100	△200	400	0.0%	+100	19	
新潟	3,900	△2,300	0	0	0	+0	3,900	0.1%	△2,300	25	0	△2,200	2,500	100	6,400	0.1%	△4,400	26	
富山	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	0	0	0	0	0	0.0%	+0	20	
小松	8,100	△600	2,800	500	9,200	+2,000	17,300	0.3%	+1,400	13	3,900	400	3,500	400	24,700	0.4%	+2,200	11	
東京	828,500	△15,800	324,400	18,900	1,046,000	+93,900	1,874,500	37.8%	+78,100	1	347,500	15,400	310,000	17,000	2,532,000	40.2%	+110,500	1	
茨城	9,600	△500	3,200	△100	10,900	+700	20,500	0.4%	+200	18	4,000	200	3,500	100	28,000	0.4%	+500	17	
神戸	900	+100	2,400	300	8,900	+1,700	9,800	0.2%	+1,800	10	2,900	400	2,600	2,600	15,300	0.2%	+4,800	9	
名古屋	143,600	△11,200	49,900	△500	174,000	+5,500	317,600	6.4%	△5,700	26	54,700	△3,300	55,100	8,000	427,400	6.8%	△1,000	25	
伊丹	119,800	+3,200	37,900	3,300	140,900	+20,900	260,700	5.3%	+24,100	3	42,900	2,100	42,300	3,400	345,900	5.5%	+29,600	3	
関西	185,200	△6,400	67,900	1,200	218,100	+16,300	403,300	8.1%	+9,900	5	70,100	1,800	61,500	2,400	534,900	8.5%	+14,100	5	
神戸	82,000	+2,200	26,900	1,900	91,100	+10,400	173,100	3.5%	+12,600	4	30,200	1,500	27,700	1,600	231,000	3.7%	+15,700	4	
岡山	11,800	+0	3,200	100	10,600	+900	22,400	0.5%	+900	15	3,900	0	3,500	100	29,800	0.5%	+1,000	15	
広島	12,900	+500	4,400	100	13,700	+1,900	26,600	0.5%	+2,400	9	4,800	300	4,900	700	36,300	0.6%	+3,400	10	
岩国	8,200	+0	3,100	500	10,100	+1,800	18,300	0.4%	+1,800	10	3,600	300	3,100	100	25,000	0.4%	+2,200	11	
高松	16,200	+2,900	3,400	500	13,000	+3,400	29,200	0.6%	+6,300	7	5,000	1,400	3,500	200	37,700	0.6%	+7,900	7	
高山	8,300	△700	3,200	500	10,100	+1,600	18,400	0.4%	+900	15	3,400	0	3,300	100	25,100	0.4%	+1,000	15	
高知	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	0	0	0	△100	0	0.0%	△100	24	
福岡	215,700	+2,100	75,200	3,200	251,600	+30,400	467,300	9.4%	+32,500	2	87,700	3,800	81,300	1,800	636,300	10.1%	+38,100	2	
北九州	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	0	0	0	0	0	0.0%	+0	20	
長崎	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	0	0	0	0	0	0.0%	+0	20	
熊本	9,400	+200	3,200	100	10,700	+1,100	20,100	0.4%	+1,300	14	3,700	200	3,600	200	27,400	0.4%	+1,700	14	
大分	0	+0	0	0	0	+0	0	0.0%	+0	19	0	0	0	0	0	0.0%	+0	20	
宮崎	8,200	△100	3,000	400	9,500	+1,800	17,700	0.4%	+1,700	12	3,300	0	3,300	300	24,300	0.4%	+2,000	13	
鹿児島	31,600	+1,800	11,400	1,000	38,900	+6,500	70,500	1.4%	+8,300	6	12,200	700	11,800	200	94,500	1.5%	+9,200	6	
その他	5,700	△6,800	0	△2,200	0	△10,200	5,700	0.1%	△17,000	27	0	△3,500	300	100	6,000	0.1%	△20,400	27	
台湾	201,500	+116,300	85,200	+28,600	296,500	+136,300	498,000	10.0%	+252,600	-	0	+0	0	+0	498,000	7.9%	+252,600	-	
韓国	93,500	+32,300	36,200	+14,700	109,000	+41,600	202,500	4.1%	+73,900	-	0	+0	0	+0	202,500	3.2%	+73,900	-	
中国本土	57,100	+55,000	28,800	+22,500	98,400	+81,400	155,500	3.1%	+136,400	-	0	+0	0	+0	155,500	2.5%	+136,400	-	
香港	44,700	+12,800	13,100	+3,100	45,600	+9,100	90,300	1.8%	+21,900	-	0	+0	0	+0	90,300	1.4%	+21,900	-	
アメリカ	11,100	+4,500	2,800	+1,300	7,000	+3,000	18,100	0.4%	+7,500	-	0	+0	0	+0	18,100	0.3%	+7,500	-	
カナダ	2,400	+1,000	700	+400	1,700	+700	4,100	0.1%	+1,700	-	0	+0	0	+0	4,100	0.1%	+1,700	-	
イギリス	2,900	+700	600	+300	1,500	+700	4,400	0.1%	+1,400	-	0	+0	0	+0	4,400	0.1%	+1,400	-	
フランス	900	+600	300	+100	900	+400	1,800	0.0%	+1,000	-	0	+0	0	+0	1,800	0.0%	+1,000	-	
タイ	5,000	+1,400	1,200	+1,100	3,900	+3,600	8,900	0.2%	+5,000	-	0	+0	0	+0	8,900	0.1%	+5,000	-	
シンガポール	4,300	+3,400	1,200	+1,000	3,000	+2,600	7,300	0.1%	+6,000	-	0	+0	0	+0	7,300	0.1%	+6,000	-	
マレーシア	1,500	+800	900	+700	2,100	+1,500	3,600	0.1%	+2,300	-	0	+0	0	+0	3,600	0.1%	+2,300	-	
インドネシア	800	+500	300	+200	800	+500	1,600	0.0%	+1,000	-	0	+0	0	+0	1,600	0.0%	+1,000	-	
オーストラリア	2,500	+1,400	500	+100	1,300	+400	3,800	0.1%	+1,800	-	0	+0	0	+0	3,800	0.1%	+1,800	-	
その他※	50,000	+33,200	24,500	+15,600	82,700	+54,400	132,700	2.7%	+87,600	-	0	+0	0	+0	132,700	2.1%	+87,600	-	
総計	2,210,700	+232,300	831,100	121,000	2,737,300	+531,900	4,960,700	100%	+764,800	-	694,400	+21,500	636,800	+39,700	6,291,900	100.0%	+5,689,000	-	

4. 修学旅行入込人数調査予測 (令和6年12月4日時点予約数 OCVB調査 回答数7/15社)

令和6年度教育旅行推進強化事業

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	26,033 (218)	54,779 (429)	34,575 (217)	3,253 (27)	37 (1)	11,698 (67)	80,400 (382)	85,195 (389)	71,947 (386)	24,641 (122)	15,738 (104)	15,185 (86)	423,481 (2,428)
R5	14,750 (113)	37,324 (287)	26,245 (161)	2,909 (23)	165 (4)	6,802 (40)	64,998 (316)	80,797 (362)	50,816 (273)	14,175 (81)	16,856 (95)	11,603 (67)	327,440 (1,822)
R6	18,916 (140)	44,618 (336)	30,894 (198)	2,900 (23)	245 (4)	12,256 (54)	63,321 (306)	67,929 (308)	51,892 (271)	17,975 (94)	18,933 (96)	13,613 (79)	343,492 (1,909)

※()内は学校数

5. 入域数／エリア構成比 (24年度累計／同期比)

	国内入域エリア別		海外入域エリア別	
	構成比		構成比	
	比率	前年差	比率	前年差
東日本	52.0%	△0.2%	44.0%	+2.2%
中部	8.3%	△0.9%	17.9%	△4.4%
関西・中四国	24.5%	+0.5%	13.7%	+7.4%
九州	15.2%	+0.5%	8.0%	△3.8%
			16.4%	△1.4%

6. 航空旅客輸送実績／需給バランス (数値について) ※国内数値は、沖縄県観光政策発表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
 ※いずれも沖縄向け(定期路線、下り便)の数値
 ※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
 ※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値 ● 月ごとの供給/需要/利用率

	4-6月計		7月	8月	9月	7-9月計	上期計	10月	10-12月計	年度計	参考値 FSC・LCC内訳						
	提供座席	輸送実績	提供座席	輸送実績	利用率	提供座席	輸送実績	利用率	提供座席	輸送実績	利用率	令和6年11月	令和5年11月	増減数	前年同月比	FSC	LCC
国内	2,359,245	1,753,431	853,872	789,822	92.3%	803,136	2,135,288	84.4%	821,604	1,381,145	85.5%	549,700	508,500	+41,200	108.1%	549,700	82,700
海外	344,685	306,736	128,975	119,752	92.9%	126,794	343,853	88.4%	135,579	223,042	80.0%	82,700	86,900	△4,200	95.2%	82,700	86,900
合計	2,703,930	2,060,167	989,746	897,662	90.7%	938,715	2,474,115	84.5%	821,604	1,614,999	85.5%	632,400	595,400	+37,000	94.2%	632,400	168,900

参考数値 ● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

国内		輸送実績 (需要)				提供座席 (供給)				利用率			需給	概況
発地	着地	2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	増減	前年比 差異	概況
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0	+	0	0	+	0	-	-	-	-	○	
仙台	那覇	45,465	36,734	123.8%	+8,731	63,150	45,976	137.4%	+17,174	72%	80%	△8%	△14%	×
新潟	那覇	7,785	12,888	60.4%	△5,103	14,940	20,086	74.4%	△5,146	52%	64%	△12%	△14%	×
小松	那覇	29,604	27,056	109.4%	+2,548	40,095	39,105	102.5%	+990	74%	69%	+5%	+7%	○
茨城	那覇	34,049	33,420	101.9%	+629	43,011	41,949	102.5%	+1,062	79%	80%	△1%	△1%	△
羽田	那覇	2,163,522	2,041,362	106.0%	+122,160	2,588,314	2,503,681	103.4%	+84,633	84%	82%	+2%	+3%	○
羽田	宮古	175,268	183,517	95.5%	△8,249	195,855	244,132	80.2%	△48,277	89%	75%	+14%	+15%	○
羽田	石垣	233,958	214,147	109.3%	+19,811	273,290	270,226	101.1%	+3,064	86%	79%	+6%	+8%	○
羽田	久米島	6,278	4,672	134.4%	+1,606	8,085	6,930	116.7%	+1,155	78%	67%	+10%	+18%	○
羽田	下地島	37,391	35,600	105.0%	+1,791	42,657	41,949	101.7%	+708	88%	85%	+3%	+3%	○
静岡	那覇	18,635	12,650	147.3%	+5,985	27,057	19,920	135.8%	+7,137	69%	64%	+5%	+11%	○
東日本エリア計		2,751,955	2,602,046	105.8%	+149,909	3,296,454	3,233,954	101.9%	+62,500	83%	80%	+3%	+4%	○
名古屋	那覇	386,529	341,926	113.0%	+44,603	469,849	443,610	105.9%	+26,239	82%	77%	+5%	+7%	○
名古屋	宮古	42,379	34,717	122.1%	+7,662	51,392	48,241	106.5%	+3,151	82%	72%	+10%	+16%	○
名古屋	石垣	40,263	32,393	124.3%	+7,870	51,227	48,583	105.4%	+2,644	79%	67%	+12%	+19%	○
中部エリア計		469,171	409,036	114.7%	+60,135	572,468	540,434	105.9%	+32,034	82%	76%	+6%	+9%	○
伊丹	那覇	413,469	375,989	110.0%	+37,480	492,540	473,425	104.0%	+19,115	84%	79%	+5%	+6%	○
伊丹	宮古	0	2,222	0.0%	△2,222	0	3,298	0.0%	△3,298	-	67%	-	+0%	-
伊丹	石垣	6,553	6,295	104.1%	+258	8,300	8,536	97.2%	△236	79%	74%	+5%	+7%	○
関西	那覇	206,487	174,356	118.4%	+32,131	274,189	262,063	104.6%	+12,126	75%	67%	+9%	+14%	○
関西	宮古	78,733	63,844	123.3%	+14,889	98,321	92,684	106.1%	+5,637	80%	69%	+11%	+17%	○
関西	石垣	62,919	55,028	114.3%	+7,891	75,688	78,371	96.6%	△2,683	83%	70%	+13%	+18%	○
神戸	那覇	233,905	215,105	108.7%	+18,800	303,295	293,471	103.3%	+9,824	77%	73%	+4%	+5%	○
神戸	下地島	35,443	33,353	106.3%	+2,090	42,834	41,772	102.5%	+1,062	83%	80%	+3%	+4%	○
岡山	那覇	36,199	35,139	103.0%	+1,060	41,910	40,755	102.8%	+1,155	86%	86%	+0%	+0%	○
広島	那覇	43,871	40,027	109.6%	+3,844	51,435	45,727	112.5%	+5,708	85%	88%	△2%	△3%	△
岩国	那覇	30,399	27,680	109.8%	+2,719	40,172	38,900	103.3%	+1,272	76%	71%	+5%	+7%	○
高松	那覇	45,590	36,247	125.8%	+9,343	64,222	48,375	132.8%	+15,847	71%	75%	△4%	△7%	×
松山	那覇	30,461	29,291	104.0%	+1,170	40,171	39,175	102.5%	+996	76%	75%	+1%	+1%	○
関西・中四国エリア計		1,224,029	1,094,576	111.8%	+129,453	1,533,077	1,466,552	104.5%	+66,525	80%	75%	+5%	+7%	○
福岡	那覇	549,240	503,710	109.0%	+45,530	760,309	731,737	103.9%	+28,572	72%	69%	+3%	+5%	○
熊本	那覇	33,226	31,188	106.5%	+2,038	40,005	39,176	102.1%	+829	83%	80%	+3%	+4%	○
宮崎	那覇	118,845	114,501	103.8%	+4,344	143,661	146,121	98.3%	△2,460	83%	78%	+4%	+5%	○
鹿児島	那覇	50,003	45,334	110.3%	+4,669	67,986	64,131	106.0%	+3,855	74%	71%	+3%	+4%	○
与論	那覇	22,920	11,035	207.7%	+11,885	26,126	14,100	185.3%	+12,026	88%	78%	+9%	+22%	○
沖永良部	那覇	8,717	7,834	111.3%	+883	11,302	10,992	102.8%	+310	77%	71%	+6%	+8%	○
九州エリア計		782,951	713,602	109.7%	+69,349	1,049,389	1,006,257	104.3%	+43,132	75%	71%	+4%	+5%	○
国内/合計		5,228,106	4,819,260	108.5%	+408,846	6,451,388	6,247,197	103.3%	+204,191	81%	77%	+4%	+5%	○

概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~△%)
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(△5%以上)

※海外路線の情報に関しては、入域観光客数(国別)6pならびに就航便数16pでご確認ください。

特集 観光案内所から見える外国人観光客の実態

～問い合わせ内容の違いから見える特徴や観光案内所を活用した効果的な誘客～



▲沖縄観光情報センター
※ゆいレール旭橋駅、
那覇バスターミナル直結



▲那覇空港観光案内所
(国際線)



▲那覇空港観光案内所
(国内線)

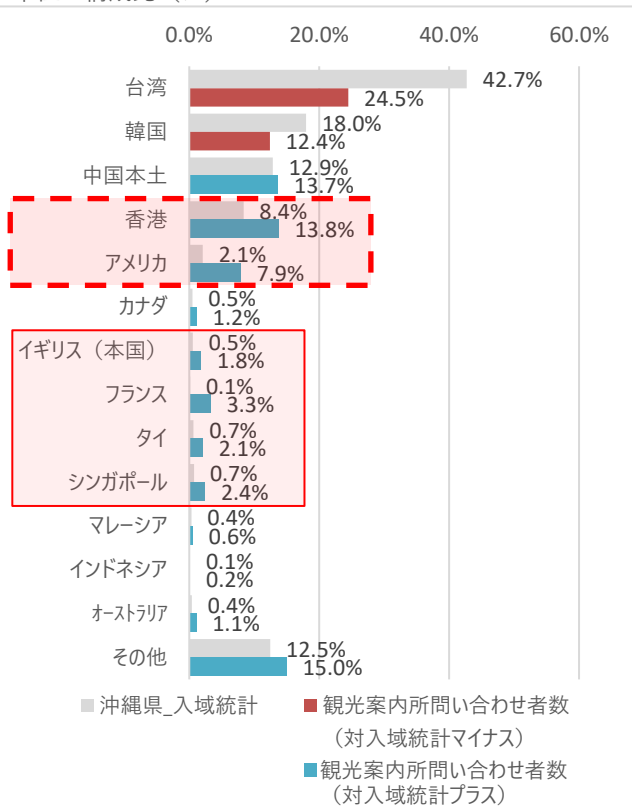
県内交通や所要時間などの具体的な情報を提供することで旅の計画をより充実させ、沖縄滞在を快適で楽しいものにし、旅の満足度向上に貢献しているとも頼れる窓口です。

沖縄を訪れる旅行者にとって、最初の案内役となる観光案内所。沖縄本島には、沖縄県が運営する観光案内所が3か所あり「空」と「陸」の交通拠点で観光客を迎え入れていきます。言語対応も充実しており、多国籍な観光客に対して安心して旅を楽しむためのサポートを提供しています。観光案内所は、ただ観光地を紹介するだけではありません。

観光客の沖縄滞在をより充実させる情報提供

沖縄旅行の入り口を支える
県内3カ所の観光案内所

単位：構成比 (%)



▲図表1 沖縄県入域観光客統計 (2024年1-9月) と県内3カ所の観光案内所を訪れた外国人観光客数 (2024年1-9月) を構成比で比較

観光案内所では、窓口を訪れる外国人観光客の属性や問い合わせ内容を日々細かく集計・蓄積しています。スタッフの皆様があらゆる国から来た観光客からの問い合わせに対応している中で、近年は欧米豪の観光客が増えているという傾向がデータからも明らかになっていきます。観光案内所よりデータ提供頂いたのでご紹介

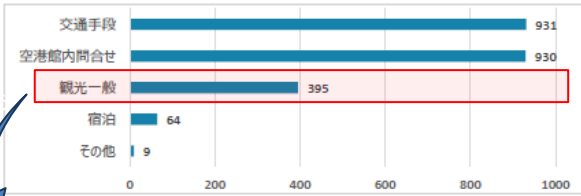
観光案内所での外国人観光客の問い合わせ状況

左の図表1では県内3カ所の観光案内所へ訪れた外国人の構成比と沖縄県が毎月発表している入域観光客統計から算出した外国人観光客の構成比を比較しています。台湾・韓国は沖縄県の入域観光客に対し問い合わせ者数が少ないことに対し、香港やアメリカは入域客に対して観光案内所への問い合わせ者数に大きな乖離があり、問い合わせ者数の構成比が入域統計より高くなっています。その他、イギリス、フランス、タイ、シンガポールも観光案内所来訪者の構成比は沖縄県の入域観光客統計より高くなっています。

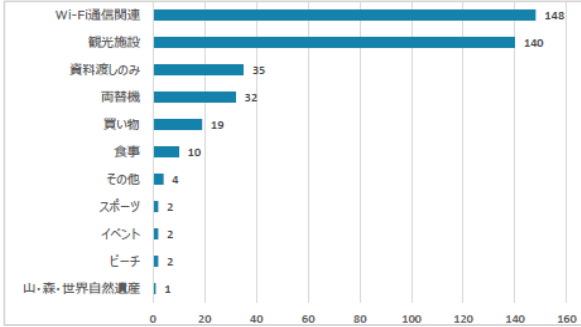
よくある問い合わせと地域別 問い合わせ内容の違いについて

外国人観光客が観光案内所でのような問い合わせをしているのかについて、観光案内所の集計データによると、2024年11月、那覇空港国際線ターミナルでは、バスやモノレールなど交通手段に関する問い合わせが最も多く寄せられました(図表2参照)。観光一般への問い合わせも多く、主にWi-Fi通信や観光施設に関する質問が多く見られました(図表3参照)。さらに、観光案内所運営スタッフによると地域別に次の特徴があると教えて頂きました。

■欧米人観光客・・・「静かで自然を満喫できる場所」や「長期滞在向けの観光スポット」を求める傾向が強く、具体的な場所よりもアウトな情報が必要とする特徴がある。また、地図やパンフレットなどアナログな



▲図表2 那覇空港国際線ターミナル2024年11月の問い合わせ (全般)



▲図表3 那覇空港国際線ターミナル2024年11月の関連問い合わせ (観光一般)

資料を好む観光客も多く、現地で計画を立てる際に役立てている傾向にある。

■アジア圏観光客・・・「ショッピングスポット」「観光名所へのアクセス方法」など、具体的に明確な質問が多い。滞在期間が短いため、効率よく観光するための情報収集を重視していることが伺える。

観光案内所スタッフを考える 沖縄観光の課題

観光案内所スタッフが課題と感じるのは、県内の交通アクセスの状況です。特に南部や北部ではバスの本数が少なく、さらにバス停から離れたホテルなどへの移動で大きな荷物を持ちながら徒歩を強いられる場合があり、観光客に不便を感じさせてしまうことがあります。(その場合はタクシーでの移動を推奨) また、訪問計画が曖昧な観光客が所要時間を十分に把握せず旅行を計画することで、時間の制約により希望する観光地への訪問が叶わないケースも目立っています。



▲那覇空港国際線ターミナルの観光案内所パンフレットを設置する場所も充実している

効果的に観光案内所を活用し 外国人観光客を誘致しよう

観光案内所には多くの外国人観光客が沖縄の具体的な観光情報を求め訪れます。観光案内所は県内事業者にとってインバウンド誘致の重要な窓口です。スタッフ目線のヒントを教えてくださいましたのでご紹介します。

1. パンフレットの提供

観光案内所を訪れる観光客には紙の資料が好まれる傾向にあります。パンフレット設置は案内の効率化にも役立ち、QRコード付きのラミネートチラシも効果的です。

※パンフレットの設置は有料

2. 公式サイトや多言語対応の整備
パンフレットにない情報はスタッフで検索します。多言語情報があれば案内の優先度が自然と高まります。

3. 交通アクセスの明確化

観光客は距離感を把握できないことが多く、「空港からの所要時間」を頻繁に質問します。事前にアクセス情報を明確に伝える工夫が重要です。

観光案内所の皆様の想い

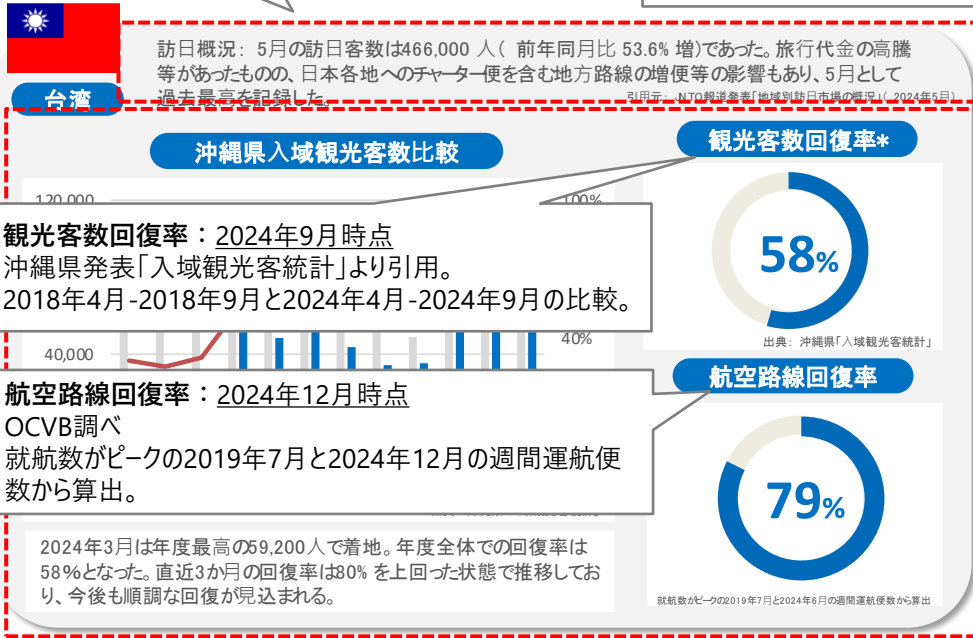
観光案内所のスタッフの皆様は、外国人観光客の充実した沖縄旅行を願い、日々多言語でご案内を提供しています。また、案内所を通じた情報発信で、県内事業者が誘客のチャンスを広げる役割も担い、県内事業者の皆様とも連携の上、沖縄観光の発展に繋がりたいと考えています。

■データ提供：沖縄県観光案内所 (<https://otic.okinawa>)
■パンフレット設置に関するお問い合わせ：沖縄県観光案内所事業(沖縄JTB株式会社) kanko_annai_jigyo@okw.jtb.jp

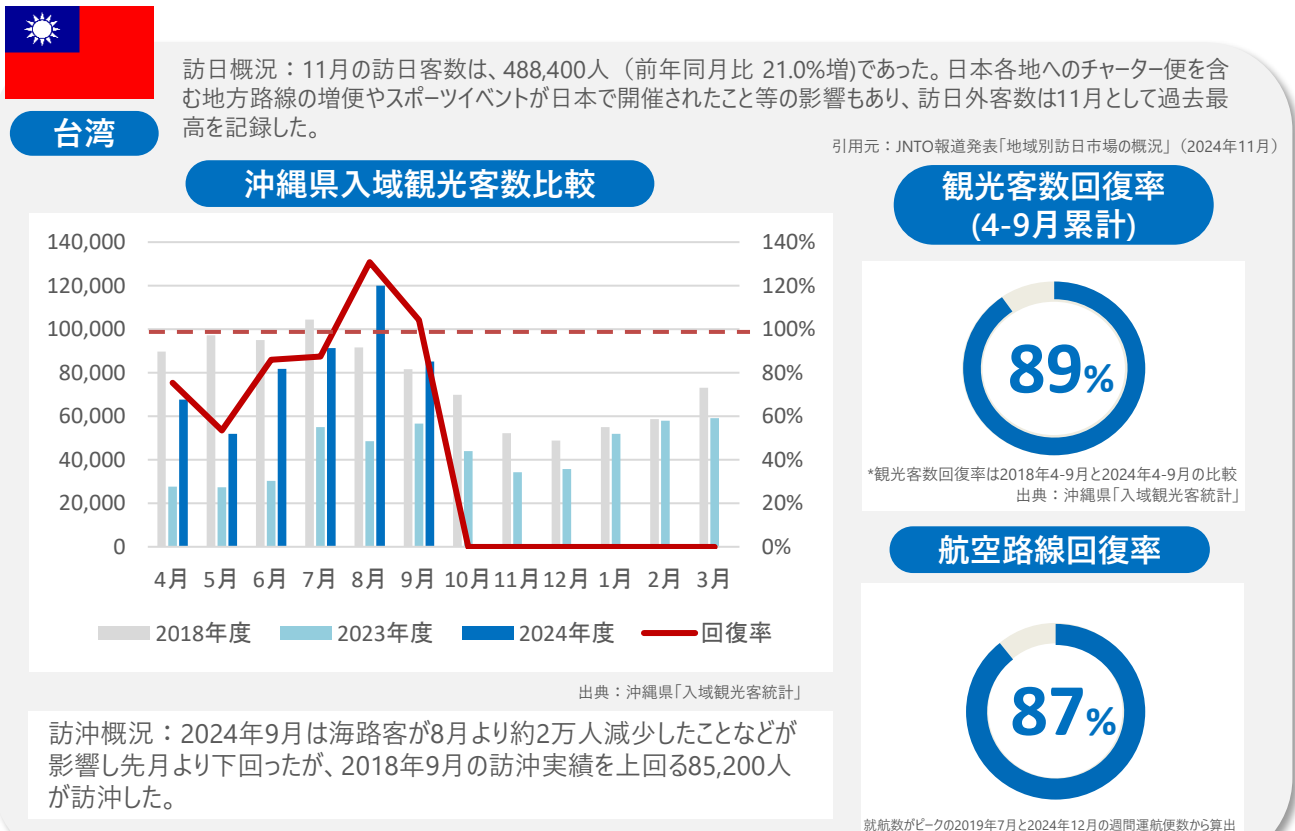
市場別概況の表の見方

訪日概況：2024年11月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2024年9月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、
3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況



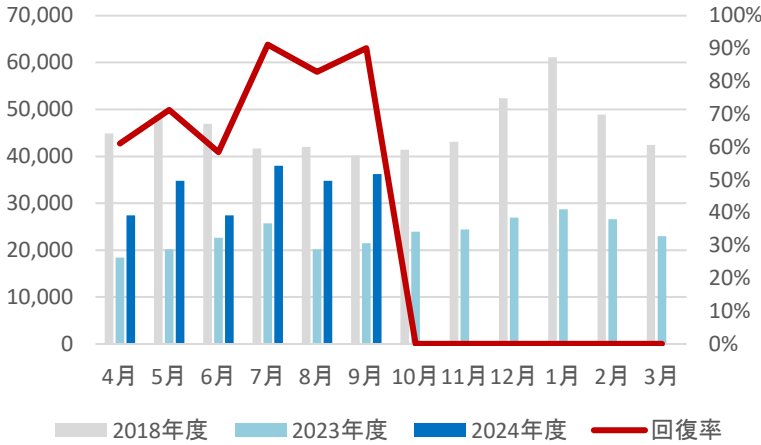


韓国

訪日概況：11月の訪日客数は749,500人（前年同月比 15.3%増）であった。11月下旬に韓国の首都圏を中心に影響を及ぼした大雪による航空便の欠航等があったものの、地方路線の増便等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。なお、11月までの累計は7,950,300人となり、過去最高であった2018年の年計（7,538,952人）を超えた。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

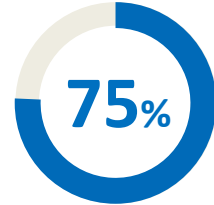
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

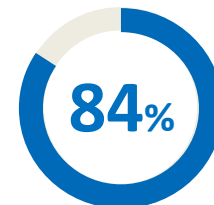
訪沖概況：2024年9月は8月に引き続き好調に推移し、来訪者36,200人、回復率90%を記録。韓国市場は例年夏場に訪問者が落ち込む傾向があるが、今年度は多くの訪沖があった。

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

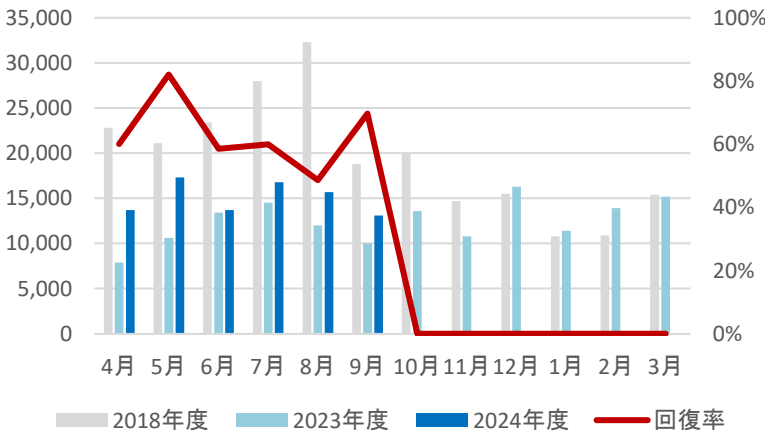


香港

訪日概況：11月の訪日客数は、227,100人（前年同月比 13.3%増）であった。地方路線の増便の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。なお、11月までの累計は2,397,800人となり、過去最高であった2019年の年計（2,290,792人）を超えた。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

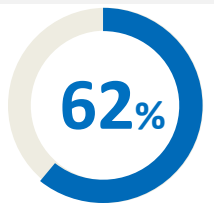
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

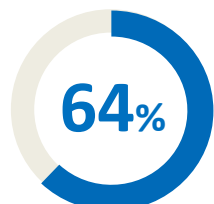
訪沖概況：2024年9月は8月よりやや減少したが、2018年の8月～9月より大きな落ち込みはなく、回復率は8月の49%に対し、70%になった。

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

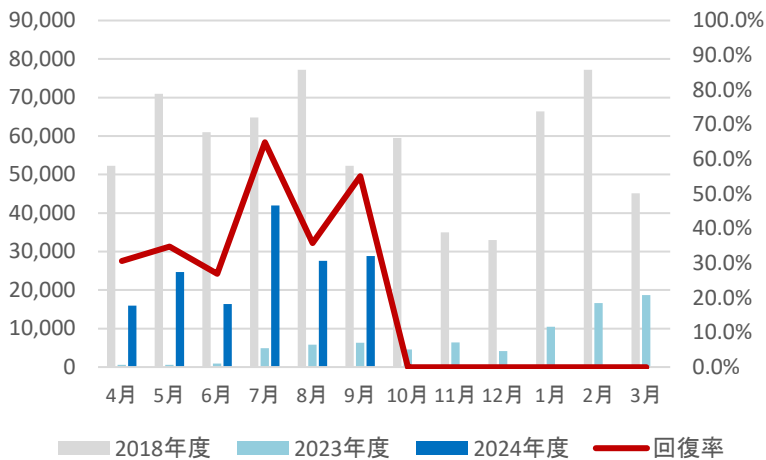


中国

訪日概況：11月の訪日客数は、546,300人（前年同月比 111.5%増）であった。地方路線を含む増便等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

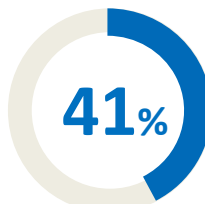
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

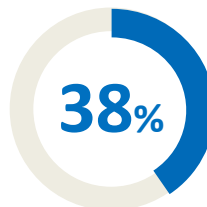
訪沖概況：中国からのクルーズ船での来訪者が8月13,700人から17,900人へ増加した一方、空路では8月13,900人から9月は10,900人とやや減少した。

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

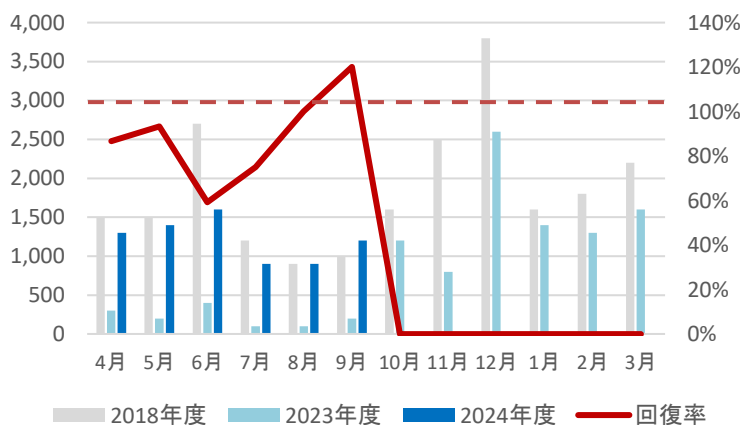


シンガポール

訪日概況：11月の訪日客数は95,800人（前年同月比 11.3%増）であった。直行便数が2019年水準を上回っていることに加え、需要の高まる11月のスクールホリデーに向けた広告や旅行博の各種プロモーション等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

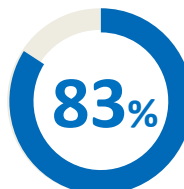
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年9月は8月の900人よりやや増加し、1,200人の来訪があった。2018年9月の来訪は1,000人と、単月で初めて2018年の実績を上回った。

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

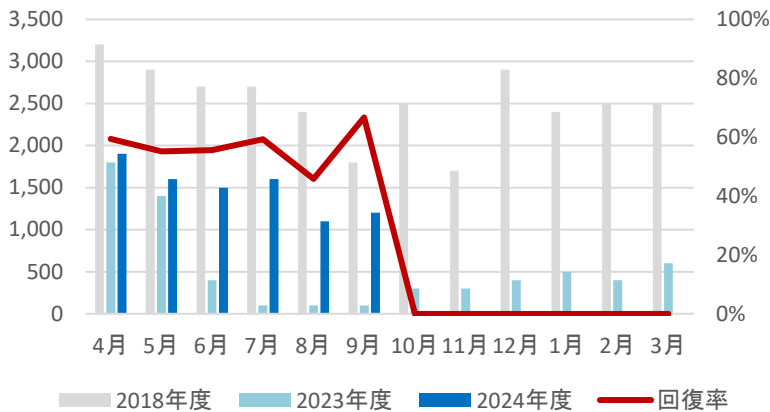
7. エリア概況（海外） タイ・マレーシア

タイ

訪日概況：11月の訪日客数は、118,000人（前年同月比 3.4%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり、消費者購買力の低下等あるものの、直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：9月は繁忙期である8月に比べ来訪者が減少する傾向にあるものの、2024年9月は、来訪者数が増加した影響で単月の回復率は2024年度最高の67%となった。

観光客数回復率 (4-9月累計)

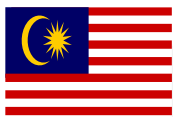
57%

*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

257%

就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

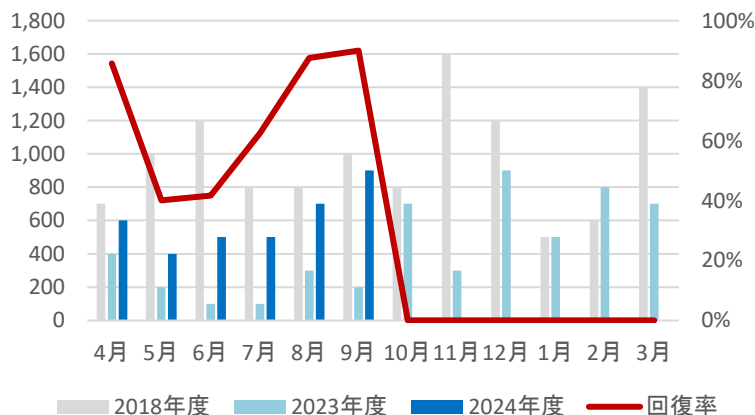


マレーシア

訪日概況：11月の訪日客数は62,000人（前年同月比 20.7%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり、機材繰りなどに伴う一部航空会社の運航規模縮小等あるものの、直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年9月は先月と比較し200人増の900人が沖縄を訪れ、回復率90%と比較的好調だった。

観光客数回復率 (4-9月累計)

65%

*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率

200%

就航数がピークの2019年7月と2024年12月の週間運航便数から算出

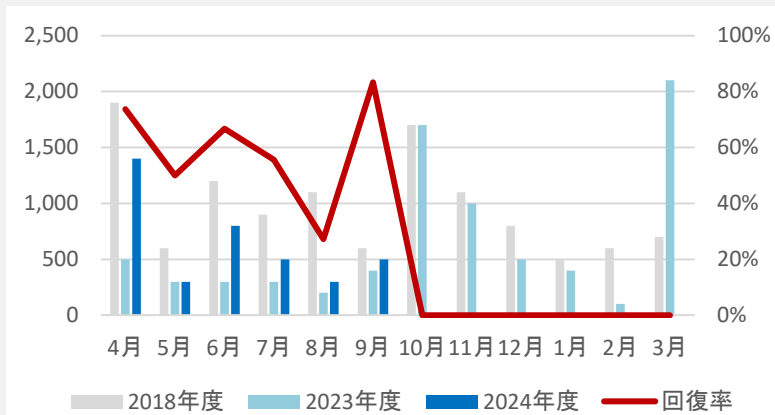


オーストラリア

訪日概況：11月の訪日客数は80,300人（前年同月比 34.8%増）であった。直行便数が2019年水準を上回っていることやスクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

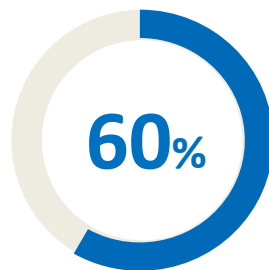
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

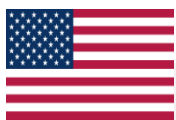
観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較

出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年9月は8月の300人からやや増加し、500人の来訪となり単月で83%まで回復した。

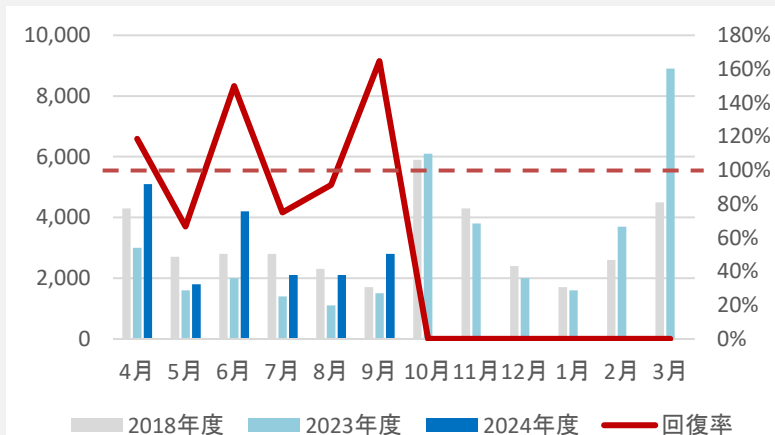


アメリカ

訪日概況：11月の訪日客数は、247,500人（前年同月比 34.0%増）であった。直行便数の増加やサンクスギビングデー等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。

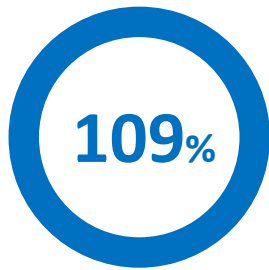
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較

出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年9月は先月より700人増加し、2,800人の来訪があった。2018年同月と比較し、回復率は165%と単月では2024年度最高の回復率となった。

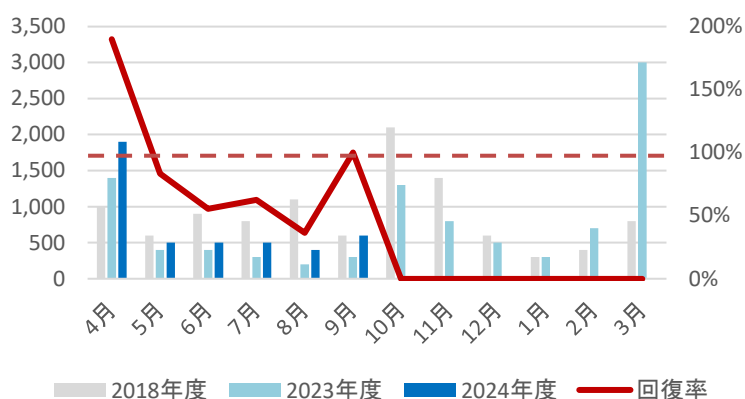


イギリス(本国)

訪日概況：11月の訪日客数は、37,000人（前年同月比 25.4%増）であった。経路便の多様化等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

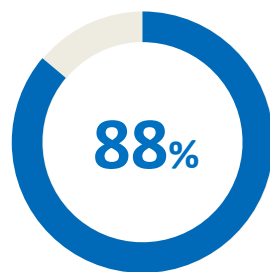
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：先月の400人からやや増加し、600人の来訪があり、単月で100%の回復率となった。

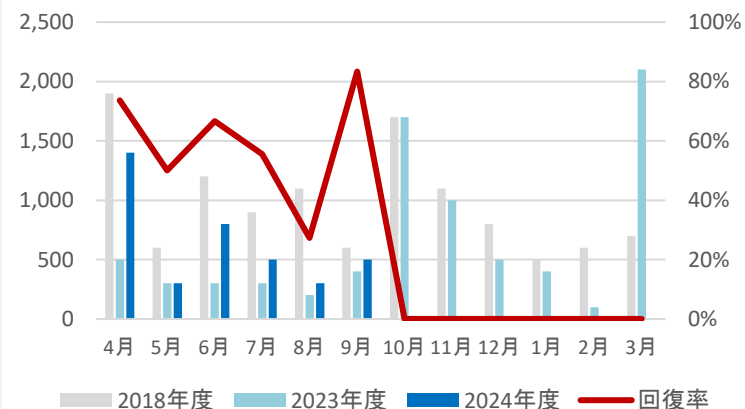


フランス

訪日概況：11月の訪日客数は、31,100人（前年同月比 28.6%増）であった。直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は11月として過去最高を記録した。なお、11月までの累計は364,300人となり、過去最高であった2019年の年計（336,333人）を超えた。

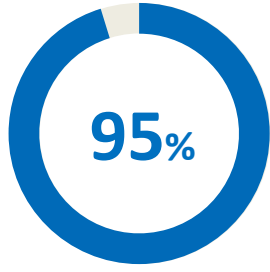
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年11月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率
(4-9月累計)



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

訪沖概況：2024年9月は先月同様300人の来訪があった。回復率は83%と単月では2024年度最高となった。

海外プロモーション課 那覇着 国際線状況

●国際線スケジュール(2024年12月31日現在)

最新のスケジュール、運航状況は航空各社のHP等ご確認ください。出発/到着時刻は現地時刻です。

【台湾路線】 沖縄県内週当たり便数 205 便

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT230	06:35	08:55	デイリ-運航
台北→那覇	エバー航空	BR112	06:55	09:15	デイリ-運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI120	08:15	10:45	デイリ-運航
台北→那覇	ピーチアビエ-ション	MM924	09:40	12:20	デイリ-運航
台北→那覇	スターラックス航空	JX870	12:00	14:25	デイリ-運航
台北→那覇	ピーチアビエ-ション	MM926	15:25	17:55	デイリ-運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI122	16:30	19:00	デイリ-運航
台北→那覇	エバー航空	BR186	16:50	19:10	デイリ-運航
台北→那覇	ピーチアビエ-ション	MM928	18:20	20:50	デイリ-運航
台中→那覇	スターラックス航空	JX 302	13:15	15:45	月・火・木・土
高雄→那覇	タイガーエア台湾	IT288	09:45	12:30	デイリ-運航
高雄→那覇	チャイナエアライン	CI132	15:50	18:30	月・水・金

【中国路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
北京→那覇	中国国際航空	CA831	12:30	17:00	水・土
上海→那覇	中国東方航空	MU2085	10:05	13:30	デイリ-運航
上海→那覇	春秋航空	9C6977	10:35	14:00	月・水・金・日
福州→那覇	厦門航空	MF8731	13:15	17:00	木・日

【韓国路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
仁川→那覇	大韓航空	KE755	08:05	10:35	デイリ-運航
仁川→那覇	アジアナ航空	OZ172	09:35	11:55	デイリ-運航
仁川→那覇	ジンエアー	LJ341	10:10	12:30	デイリ-運航
仁川→那覇	イースター航空	ZE631	11:35	14:00	デイリ-運航
仁川→那覇	ティーウェイ航空	TW271	11:40	14:10	デイリ-運航
仁川→那覇	チェジュ航空	7C1802	13:20	15:50	デイリ-運航
釜山→那覇	イースター航空	ZE 963	07:30	09:40	デイリ-運航
釜山→那覇	ジンエアー	LJ371	08:05	10:05	デイリ-運航



【定期便まとめ】

路線	便数	備考
那覇台北	63 便/週	5 社運航
那覇台中	4 便/週	1 社運航
那覇高雄	10 便/週	2 社運航
那覇北京	2 便/週	1 社運航
那覇上海	11 便/週	2 社運航
那覇福州	2 便/週	1 社運航
那覇仁川	42 便/週	6 社運航
那覇釜山	14 便/週	2 社運航
那覇香港	28 便/週	2 社運航
那覇バンコク	18 便/週	2 社運航
那覇クアラルンプール	2 便/週	1 社運航
那覇シンガポール	4 便/週	1 社運航
下地仁川	5 便/週	1 社運航
全路線計	205 便/週	27 社運航
便数回復率	80.1%	

※回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

【香港路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
香港→那覇	香港エクスプレス	UO820	07:25	10:55	デイリ-運航
香港→那覇	香港航空	HX676	07:25	11:00	デイリ-運航
香港→那覇	香港航空	HX658	11:30	15:00	デイリ-運航
香港→那覇	香港エクスプレス	UO82 6	15:50	19:20	デイリ-運航

【バンコク路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD240	08:30	14:55	火・木・土・日
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD230※	07:45	15:55	デイリ-運航
バンコク→那覇	バトジェットタイランド	VZ568※	09:05	17:05	デイリ-運航

※台北経由

【マレーシア路線】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
クアラルンプール→那覇	バティックエア・マレーシア	OD882※	01:00	15:25	水・日

※台北経由

【シンガポール路線】

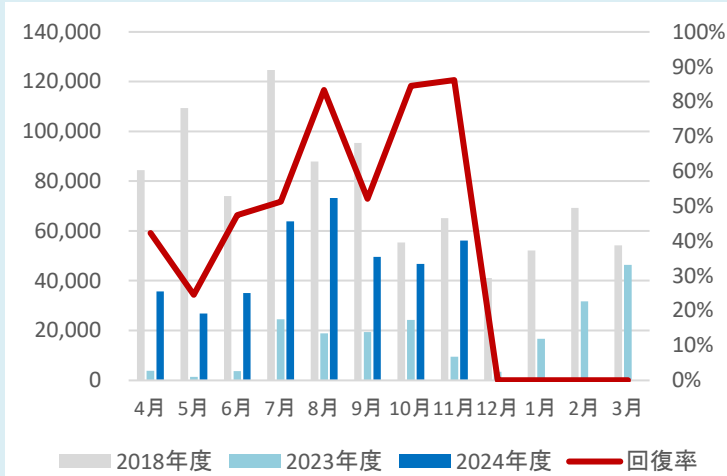
発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
シンガポール→那覇	ジェットスターアジア	3K791	02:00	08:10	火・木・金・日

【離島・下地島】

発着地	航空会社	便名	現地発時刻	到着時刻	備考
仁川→下地島	ジンエアー	LJ357	08:15	10:40	月水金土日

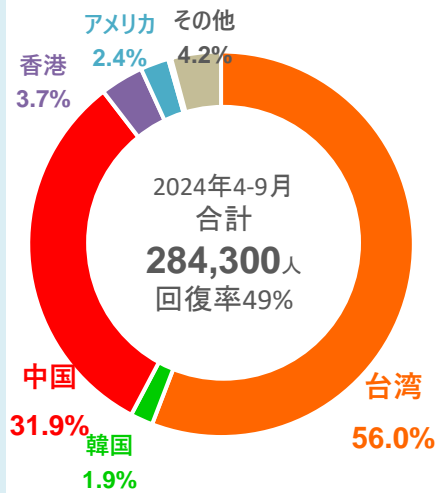
クルーズ市場概況

クルーズ（外国人、海路） | 入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

国籍内訳（4-9月）



*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較 ※乗務員を除く

主要地域回復率（4-9月）

地域	回復率
台湾	103%
韓国	965%
中国	38%
香港	65%

*観光客数回復率は2018年4-9月と2024年4-9月の比較 ※乗務員を除く

入域観光客（海路、外国人）2018年4 - 9月時期と比較して2024年4-9月は49%まで回復。いまだ中国の入域は38%、香港も65%と回復傾向はゆるやかだが、堅調に推移している。

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を事前に発信

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
 プロフィール URL：<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

- 那覇港：<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
- 石垣港：<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>
- 平良港：<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
- 本部港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022459/1022074.html>
- 中城湾港：<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowankuko/1013146/1022455/1013162.html>



国内向けプロモーションについて

■「沖縄総合ガイドブック」 約10年ぶりに刷新

OCVBは、「沖縄総合ガイドブック」を約10年ぶりに刷新いたしました。（沖縄県委託事業）

当ガイドブックは、沖縄県へお越しいただく観光客の皆様に向け、世界遺産、伝統文化、グルメ、離島を含む各スポット等の情報が網羅された内容となっており、OCVBが出版するイベントや旅行会社等で配布いたします。

※今回製作した「沖縄総合ガイドブック」につきましては、4月～5月以降に配布開始を予定しております。



左:旧沖縄総合ガイドブック 右:新沖縄総合ガイドブック

・新たに、道の駅特集ページや、各施設のバリアフリー情報、冬の時期や雨の日の沖縄を365日楽しむためのヒントページを追加。



・沖縄本島内交通アクセス情報やマリノレジャー等旅行を安全安心に楽しめるよう「旅の心得帳」など、旅中でも活用できる内容もボリュームアップしました。



お問い合わせ先：国内プロモーション課（担当）玉城、長嶺、阿嘉 TEL：098-859-6125 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

■定番からマニアックまで、それぞれのとおきおきの沖縄情報が集まるファンコミュニティサイト「沖縄Fun」

沖縄観光情報サイト「おきなわ物語」内にある、沖縄ファンコミュニティサイト「沖縄Fun」のオープンから1年。気になる投稿を保存できるマイスポット機能、MAP上から投稿を検索できる機能など、次回の沖縄旅行の計画に便利な新しい機能が加わりました。

また、サイトでは、沖縄旅行ビギナーから上級者まで、おすすめの過ごし方も紹介しています。更に、沖縄県内の観光施設の入場及び体験チケットが当たる投稿キャンペーンを実施中です。

（～1/15（水）※沖縄県外在住者対象）
ぜひ、観光客の皆さまへご紹介ください！

https://www.okinawastory.jp/feature/okinawa_fun/



沖縄Funはこちらから



お問い合わせ先：国内プロモーション課（担当）森田、賀数、阿嘉 TEL：098-859-6125 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

人材不足など県内の受入体制の課題等がありながらも着実にインバウンドの入り込みが続いていることから、OCVB海外プロモーション課では、よりいっそう賛助会員の皆様と連携しながら、海外からの訪沖プロモーション強化に取り組みます。

**●「EXPO2025関西・大阪万博」来場予定者に自社の商品情報を直接お届けできます！
万博 + 観光ポータルサイトへの登録のご案内**



2025 大阪・関西万博開催

4月13日から 10月13日までの184日間



いのち輝く未来社会のデザイン
Designing Future Society for Our Lives



提供：2025年日本国際博覧会協会

万博 + 観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」では現在、万博のテーマと関連した体験商品の掲載申請を受付けています。万博のテーマと親和性があり、主に訪日旅客に対して高い満足度と利便性を提供できる施設の入場券や旅行商品等、また地域の紹介動画・イベントの掲載申請の受付をおこなっていますので、ぜひ積極的な活用をお願いします。

貴団体の会員企業や関係団体様にも周知いたしますようお願いいたします。

サイト：[Expo 2025 Official Experiential Travel Guides](https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240111-03/)
 登録期間：2024年1月11日（木）～2025年9月30日（火）まで
 申請先：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240111-03/>
 問合せ：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
 地域・観光部 観光推進課
 TEL:06-6625-8735
 MAIL: travel-guides@expo2025.or.jp



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催 2025年4月13日(日) - 10月13日(月) 開催 大阪 夢洲(ゆめしま)
 Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025 Venue Yumeshima Island, Osaka City

【サイトイメージ】

目的で探す
いつもの旅とひとあじ違う、おやすみの体験アクティビティツアーを紹介します。(0)

> 日本の暮らしと食	> 伝統・文化・歴史	> ネイチャー、アウトドア
> ポップカルチャー	> その他	

料理教室

遠州漁港のセリ見学と有田醤油づくり体験	手打ちうどん作り体験	近江中と松茸の歴史と絶品近江牛すき焼き調理体験プレミアムプラン
有田町にある漁師漁港。日本の食文化である小豆造りの職人の技を一生懸命に伝えている。	野村は橋下二代100周年「家でも食べたい、うどん」と、縁の味を一緒に体験。	400年の歴史がある近江牛は、戦国時代にたたら製鉄で栄えた企業が残る日本一。体験。
MORE	MORE	MORE

行き先で探す

地図をクリック！

Tokyo 東京都
Osaka 大阪府



沖縄県

帆掛サバニ・アドベンチャーツアー
¥88,000 など

帆掛サバニ 半日ツアーの参加者を募集します。
【参加条件】中学生以上、泳力25m以上【服装そ…

インバウンド対応セミナーの開催について

●「インバウンド対応セミナー」を開催します

インバウンド観光客の急激な回復に伴い、県内各地域で質の高い観光受入体制を整備する必要性が高まっている一方、コロナ禍で観光産業を離れた人材が多く、現場対応に追われている事業者も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、地域別のインバウンド対応プロフェッショナルを招き、インバウンド観光客受入のノウハウ、異文化理解、マナー問題に対応するための心得について講演を行います。奮ってご参加ください！

日時：令和7年1月20日（月）13:00～17:00
対象：沖縄県内観光関連従事者、現場スタッフ
場所：沖縄コンベンションセンター会議棟B6,B7
内容：

【第1部】

①「インバウンド市場について」

講師：新本 康二 氏 沖縄観光コンベンションビューロー 海外プロモーション課

②「アジア系観光客の異文化認識・理解」

講師：愛甲 香織 氏 株式会社コチコンサルティング

③「欧米豪系観光客の異文化認識・理解」

講師：宗像 愛 氏 株式会社ツアーズデザイナーズ

④「インバウンド対応事例紹介」

講師：斎藤 圭祐 氏 株式会社シーサー

【第2部】

①質疑応答 & 意見交換会

登壇：新本 康二 氏、愛甲 香織 氏、宗像 愛 氏、斎藤 圭祐 氏

こんな方におすすめ！

- ・ 外国人観光客への対応に悩みを抱えている方
- ・ 観光の質を高めたいと考えている
現場スタッフや現場管理職

お申込みはこちらから(1/19まで)／



お問い合わせ先：

国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター

TEL：098-859-6129

✉：ikusei@ocvb.or.jp

映画・ドラマ等の撮影の受入れについてセミナーを開催します

●「JFC（ジャパン・フィルムコミッション）沖縄ブロック研修のご案内

OCVBが加盟する特定非営利法人ジャパン・フィルムコミッション（以下JFC）では、毎年、地域のロケ受入体制の強化を目的とした地域ブロック研修会を全国各地で実施しております。

今年度の沖縄ブロック研修につきましては、以下の要領で開催を予定しておりますので、様々な撮影やロケ等のお問い合わせを受ける県内自治体、観光協会、観光施設や地域の皆様にぜひご参加いただけますと幸いです。

参加ご希望の際は申込リンクより必要事項を入力の上、お申し込み下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和7年2月3日（月）14:00～17:00（13:45受付）
対象：沖縄県内でロケの受入れを行ったことのある自治体、観光協会、観光関連事業者など
場所：沖縄産業支援センター3F 中会議室 304（予定）
構成：

①「制作支援までの事前準備」（14:00～14:15）

講師：関根 留理子 氏 特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション 事務局長

内容：実際の制作現場における支援の為の事前準備について

②「ドローン撮影に関するFC側からみた準備、注意事項等の共有」（14:30～15:45）

講師：跡部 晴康 氏 ながのフィルムコミッション

内容：近年増えているドローン撮影について、撮影受入側から見た準備や注意点などをドローン撮影に詳しい方を迎えてお話いただきます。

③意見交換 ～各地域での撮影受入における現状・課題について～（16:00～17:00）

内容：セミナー参加者同士で、撮影の受入れについての現状・課題を話し合います。

お申込みはこちらから(1/15まで)／



お問い合わせ先：国内事業部 受入推進課 沖縄フィルムオフィス

TEL：098-859-6162

✉：filmoffice@ocvb.or.jp



●今後の出展予定

沖縄県およびOCVBはMICE需要獲得のため下記のとおり商談会出展及び自主開催致します。出展者募集はすでに終了しておりますが、「おきなわMICEナビ」登録もぜひご活用いただき、皆様の情報をお預かりします。どんどんお寄せください。

	催事名	日程	会場
1	沖縄MICE商談会in台北	令和7年1月16日	リージェントホテル台北
2	国際MICEエキスポ (IME2025)	令和7年2月13日	東京国際フォーラム
3	沖縄MICEセミナーin福岡	令和7年2月27日	アクロス福岡

●エージェントやPCOに直接情報を届ける「おきなわMICEナビ」に登録ください

沖縄MICE専門情報サイト「おきなわMICEナビ」では、MICE事業者の情報を「会場・施設」「ユニークベニュー」「コンテンツ」「サービス」の区分で広くご紹介しております。また、沖縄でMICE開催を企画しているプランナー向けに、みなさまのビジネス概要をパワーポイント形式のMICE企画書としてご利用いただいています。**この機会にぜひ、おきなわMICEナビへの登録をご検討ください。**

「おきなわMICEナビ」登録のご案内

下記フォームより、新規の方は新規登録、既に登録済みの方は校正が可能です。ぜひご活用ください。

★新規登録フォーム：<https://mice.okinawastory.jp/mice-newapp/>

★校正フォーム：<https://marumasap.xsrv.jp/demo-mice-navi/43/>

お問い合わせ先：比嘉茜、比嘉玲依美、奥平
TEL：098-859-6130 E-mail：
mice@ocvb.or.jp

●（第3四半期10月～12月）MICE開催歓迎支援状況について

【支援申請・動向】

R6年度1第3四半期（10～12月）の開催歓迎支援の申請・実施件数は、前年度同時期と比較し、秋が最盛期のコンベンションで144.4%、ミーティング・インセンティブは昨年度に及ばなかったものの、合計件数では115%と増加しました。この時期に修学旅行もピークを迎えるため、バスの手配が難しかったことから、団体で移動を行うタイプのMICEの開催に影響したものと思われます。バス事情等の情報提供にも留意しながら、情報発信に取り組んでまいります。

■開催歓迎支援・申請状況						
※令和7年1月8日時点	10月	11月	12月	計	前年比	
ミーティング	2	0	1	3	75.0%	
インセンティブ	8	4	5	17	94.4%	
コンベンション	5	17	4	26	144.4%	
合計件数	15	21	10	46	115.0%	

＼おきなわMICEナビはこちらから／



沖縄県・OCVBでは、MICE誘致および開催時の満足度向上を目的として、MICE主催者向けの各種支援事業（MICEサポートメニュー）をご用意しています。支援の対象は、沖縄県内でMICEを開催する主催者および主催者から委託を受けた旅行会社や企画会社等となっており、人数や開催内容についての諸条件がございます。詳しくは「おきなわMICEナビ」サイトをご覧ください。

お問い合わせ先：屋良、照屋、義岡、折原
TEL：098-859-6130 E-mail：
mice_support@ocvb.or.jp

沖縄観光大使、各地でPR実施中！

2024年7月より活動を開始している沖縄観光大使の4名が、県内外のイベントに参加し各地で沖縄の魅力を発信しています。これまでの活動について、ご紹介させていただきます。派遣に関するお問合せもお待ちしております。

＼どさんこしまんぢゅフェスティバル with 神戸・三宮 2024／

日程：令和6年7月20日～7月21日
場所：三宮センター街1丁目（兵庫県）

初の派遣は伝統芸能部門の與那國さんです。舞台での演奏に加え、ブースでは三線とともに訪れた人々へ沖縄観光と文化について魅力をお伝えしました。



＼沖縄観光未来ビジョンコンテスト事前勉強交流会／

日程：令和6年10月5日
場所：沖縄産業支援センター

OCVB主催「沖縄観光未来ビジョンコンテスト」に向け、大使4名の各専門分野に関する講話を行いました。沖縄観光の未来を担う県内の高校生、大学生との交流を楽しみました。



＼ツーリズムEXPOジャパン2024／

日程：令和6年9月28日～9月29日
場所：東京ビッグサイト（東京都）

OCVBブース内のステージにて、伝統芸能部門の與那國さんとスポーツ部門の仲本さんの対談や、ブース内でパンフレット配布やスポーツ診断の実施などを通して来場者とコミュニケーションすることができました。



＼トヨタ車体プレイヴキングス 対 琉球コラソン 公式戦／

日程：令和6年11月23日
場所：刈谷市体育館（愛知県）

沖縄県がホームであるハンドボールチーム「琉球コラソン」のアウェイ公式戦での沖縄観光プロモーションを実施しました。観戦に訪れた方々へ併せて楽しめる沖縄観光案内を行い、スポーツを目的とした沖縄旅の魅力を発信しました。



■沖縄観光大使の公式SNSができました！！

沖縄観光大使の公式SNSができました！
観光大使の視点から見たちょっとマニアックな(?)沖縄情報が見れますよ～ ぜひご覧ください！

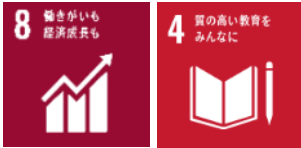


【本件に関するお問い合わせ先】 企画課 TEL:098-859-6126 E-mail: kankotaishi@ocvb.or.jp
コーポレートサイトは[こちら](#)

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」）は、沖縄県が行うSDGsの普及啓発に向けた取り組み「おきなわSDGsパートナー」に登録されております。沖縄観光におけるSDGsの取り組みとして、OCVBから各部署での取り組みを2回に分けて紹介いたします。第2回目は、海外プロモーション課、国内プロモーション課、MICE推進課、受入推進課における取り組み内容を紹介します。

海外プロモーション課のSDGsに関する取り組み

海外・MICE事業部
海外プロモーション課



海外プロモーション課では、海外および県内でのプロモーションにおいて、沖縄の文化や県産品を海外に広め、その継承および地場産業の振興を通して持続可能な観光業の実現に向けて取り組んでいます。

●沖縄への招へい時および海外でのオンラインイベントにおける沖縄の文化の体験・紹介

旅行業関係者を沖縄に招き沖縄文化を実際に体験していただくことで、沖縄旅行商品を造成し訪沖観光客の誘致促進を図っています。また、海外で開催されるイベントに沖縄文化の第一人者をご紹介し、オンラインでご本人からご紹介いただくことで、沖縄文化の海外での認知度向上を図っています。

さらには、これら活動を通じ、文化的な知識・技術・経験を継承し沖縄の産業を活性化して、持続・発展させていくことを目指しています。

●クルーズ船内での沖縄文化の紹介、海外の観光客への発信

クルーズ船社と連携し、船内にてエイサー等沖縄の伝統芸能の披露や泡盛の試飲会を実施することにより、沖縄の歴史・文化に対する理解の促進と乗客の満足度を高め、下船後の域内消費額の向上と経済波及効果の拡大につなげる取り組みを行っています。



【沖縄料理体験】



【エイサー体験】



【サンゴ染め体験】



【海外イベントでの紅型紹介】



【ミンサー織り体験】



【琉球漆器堆錦体験】

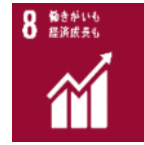


【クルーズ船内での泡盛試飲会】

お問い合わせ先： 海外プロモーション課
TEL：098-859-6127
E-mail：global_pr@ocvb.or.jp

国内プロモーション課のSDGsに関する取り組み

国内プロモーション課では、持続可能な観光地の実現に向け「エシカルトラベル」をテーマに情報発信を行い、SDGsの理念に沿った取り組みを行っている**県内観光関連事業者の機会創出**および、観光関連事業者のSDGs理解啓発に取り組むとともに、プロモーションにおいても**環境・地域に優しい観光地のイメージ浸透**を図ることを重点的に取り組んでいます。



●持続可能な観光地プロモーション「エシカルトラベルオキナワ」 第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において「UN Tourism特別賞」を受賞

「ツーリズムEXPOジャパン」（主催：公益社団法人日本観光振興協会、一般財団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO））が開催する第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において、持続可能な観光地プロモーション「エシカルトラベルオキナワ」の取組が「UN Tourism特別賞」を受賞しました。

（UN Tourism：国連世界観光機関（UNWTO）の通称）

「エシカルトラベルオキナワ」は、持続可能な観光地づくりに向けた取り組みとして、沖縄の自然・伝統・産業等に触れながら“地域と過ごす旅”を通し、本県へ訪れる観光客一人ひとりが地域の一員のように過ごすだけでなく、迎え入れる県内観光事業者、沖縄県民も同様の考えを持ち、双方が地域の暮らしや自然環境に配慮した旅を心がけるきっかけになるような取り組みを進めております。

今回受賞した選考ポイントとして、旅行者数などに重きを置いた誘客施策ではなく、「世界から選ばれる持続可能な観光地」を将来像として、質の高い観光を求めた施策を展開している点や、沖縄の自然環境・伝統・産業を尊重し、旅行者と県民の相互満足度向上を目指している事、さらには県内の参加事業者が毎年着実に増えている事から今後の発展も期待できることなどを評価頂きました。

引き続きOCVBでは県内の観光事業者の皆様と連携しエシカルトラベルオキナワを推進してまいります。

【授賞式の様子】



●世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を活用した観光プロモーション

鹿児島県及び沖縄県にまたがる「奄美大島、徳之島、沖縄北部（国頭村、東村、大宜味村）及び西表島」（以下、「奄美・沖縄」という。）の4エリアは、世界的に見ても貴重な生物多様性が評価され、令和3年7月に世界自然遺産に登録されました。

沖縄県と鹿児島県は、平成27年度より、OCVBと鹿児島県観光連盟共同で「奄美・沖縄」観光交流連携事業を実施しています。日本で5つ目となる世界自然遺産に登録された4地域の、自然資源の保全と持続的利用を考慮しつつ、遺産登録地域の文化面や観光スポットを紹介し、レスポンスフルツーリズムの推進、理解ある観光客の誘客を図っています。



お問い合わせ先： 国内プロモーション課
TEL：098-859-6125 E-mail：domestic_pr@ocvb.or.jp

【環境に配慮した素材（紙、インク）を使用したパンフレットの製作】

MICE推進課のSDGsに関する取り組み①



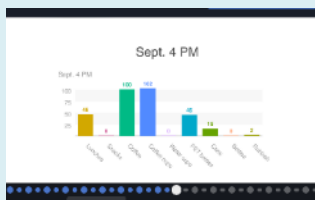
●「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」を活用した初の国際会議が開催されました。

沖縄県・OCVBでは、主催者、事業者双方のサステナブルな取組を支援するツールとして『沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン』（以下ガイドライン）を策定しており、9月に沖縄コンベンションセンターで開催された「SPNHC(国際自然史標本保存学会)-TDWG(生物多様性情報標準化委員会)合同大会」では、OCVBが事務局を務める沖縄MICEネットワークのサステナビリティ部会が主催者と協力のうえ、ガイドラインに基づいたMICE運営への監修、助言を行うなどサステナブルなMICEの開催をサポートしました。先駆的事例となる素晴らしいサステナブルMICEの取組をご紹介します。



大会行動規範へ配慮事項の明記と発信

大会公式HP上の「行動規範」に、開催地である沖縄に対する持続可能性等への配慮事項が記載され、主催者側が積極的にサステナブルMICEに取り組む本気度が示されました。また、主催者・運営事務局は、サステナビリティ部会のサポートを受けて、ガイドライン策定の背景や目的、主催者用のセルフチェックシートの内容に関する勉強会を行い、サステナブルな大会運営に向けた意識の共有を図りました。



廃棄物削減への取組

廃棄物の削減意識の向上につなげるため、日ごとの廃棄物総量の推移を可視化するアプリが導入されました。可視化されたことにより参加者の当事者意識が高まり、紙配布物の削減、参加者のマイボトル持参・ウォーターサーバー利用で持ち込みされるペットボトル廃棄物を削減する等の標準的な対策がコツコツと実施されました。



幕間スライドの活用

大会の会期中において、全ての会議室で使用される幕間スライド（タイトルスライド）にガイドラインのチェックリストや廃棄物排出量に関する情報を確認できるQRコードを掲載しました。参加者が空き時間を利用して、手軽に情報を得られる工夫が行われました。



開催地独自の魅力を体験できる機会の提供

大会参加者向けに、ネイチャーポジティブの取組を体感できるエコツアーを開催。「恩納村サンゴの村創りツアー」と題しフィールドワークや講義、現地の人々と交流する意見交換会が実施されました。参加費用は地域の環境的な村づくりへ還元されることに加え、ツアー本体で地域社会や文化に触れることで、開催地への理解がより一層深まる機会が創出されました。

「SPNHC-TDWG合同大会」は、国内の国際催事において、企画からフォローアップまで一貫してガイドラインを導入した初のサステナブルMICE事例です。本事例を様々なところで活用していただけるよう、特集ページを作成いたしました。ぜひ活用ください！

<https://mice.okinawastory.jp/reason/sustainability/sustainability-case/>



●サステナビリティ部会×学生のコラボ実現！

沖縄MICEネットワークのサステナビリティ部会ではガイドラインの運用促進・普及活動について検討・運営を図ることを目的に、県内開催催事の現場チェック等を実施しております。

今年度は初の取組として、沖縄大交易会2024に参加していたirc国際ショナルリゾートカレッジの学生ボランティアとコラボし、催事の現場でどのようなサステナブルな取組が実践されているかを確認しました。最初に、部会員から沖縄のSDGsへの取組状況やサステナブルMICEの必要性等を説明し、学生達はチェックシートを片手に部会員とともに会場内のチェック作業にあたりました。「自分たちにも身近にできる取り組みが発見できた」「裏側を知れてよかった」「たくさん学びがあった」などの意見が寄せられました。



MICE推進課のSDGsに関する取り組み②

●Jクレジット制度を活用したコングレスバッグの提供

サステナブルMICE推進のため、沖縄県内で開催されるコンベンションの主催者及び参加者に対して、Jクレジット制度を活用しカーボンオフセットした布製のコングレスバッグを提供しております。今年度提供しているコングレスバッグは、製作の過程（原材料調達・輸送・流通）で排出されたCO₂約18.1t-CO₂に対し、19t-CO₂をオフセットいたしました。



【コングレスバッグ】



【証明書】

【コンベンション開催歓迎支援】

<https://mice.okinawastory.jp/support/convention/>

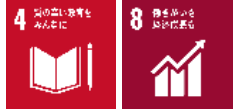
お問い合わせ先：MICE推進課 TEL：098-859-6130 E-mail：mice@ocvb.or.jp

沖縄を支える未来の観光人材育成に向けた取り組み

受入事業部
受入推進課

●インターンシップの受入／観光出前講座の展開

OCVBでは、沖縄を支える未来の観光人材を育成することを目的に様々な取り組みを行っています。その1つが**インターンシップの受入**です。OCVBで行われている様々な観光関連事業について直接触れることのできる機会、インターンシップの期間を通じて多くのことを経験し、学んでいただいています。ただ一緒に働くだけでなく、学んだことを発表する場を設けるなど、**自発的な探究学習の場**としても活用いただける環境を作っています。



また、沖縄観光に関する知識や観光業の様々な仕事の内容などを、県内の小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校など幅広い教育機関を対象とした「**観光出前講座**」という形でお届けしております。令和6年度より沖縄県の「観光人材育成・確保促進事業」の一環として、無償で展開しております。出前講座では講座を受けたクラスを対象に、イラストなどで分かりやすく沖縄観光について学習できる「**沖縄県観光学習教材**」を配布し、活用いただいております。（データ版は[OCVBコーポレートサイト](#)で公開中）

OCVBでは今後も引き続き、人材面においても持続可能な沖縄観光の発展に向けて取り組んでまいります。

令和6年度 取り組み実績 (令和6年12月25日時点)

インターンシップ受入実績	大 学：4校 9名 専門学校：1校 2名 高等学校：2校 6名	計7校 17名
観光出前講座実績	短期大学：1校 高等学校：3校 中学校：6校 小学校：5校	計15校



お問い合わせ先：国内事業部 受入推進課 TEL：098-859-6129 E-mail：ukeire@ocvb.or.jp (担当：具志堅)

●2025年「沖縄観光新春の集い」を開催しました

令和7年1月6日にパシフィックホテル沖縄にて、2025年「沖縄観光新春の集い」を開催しました。

OCVB賛助会員の皆様をはじめ、国・沖縄県、経済界、地域観光協会、観光業界、各種団体、メディア等、各業界の関係者の皆様およそ80人にご参加いただきました。

幕開けとして県出身のオペラ歌手・喜納響さんらによる鮮やかで優美な歌声を披露いただき、続いて行われた鏡開きでは、観光業界全体の結束と発展への期待を新たにしました。

今年の干支、巳年は、復活と再生、新しいことが始まる年になると言われております。沖縄観光の取り組みが実（巳）を結ぶ、明るい年になるよう、皆様と共に取り組んでまいりますので、引き続き、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●賛助会員交流掲示板(Teams)の登録・利用促進に取り組んでいます

OCVBでは現在、新たなサービスとして賛助会交流掲示板システム（Teams）仮運用をスタートし、Teamsを活用することで、従来の情報発信方法では叶わなかった、賛助会員の皆様からの情報発信、会員同士のマッチングが可能となりました。これまで専用ページでIDやパスワードを入力しないと確認できなかった「OCVBNews」についても、ID・パスワードの入力することなく、ワンクリックで閲覧することが可能となりましたので、ぜひご登録ください！

※従来の「賛助会員メールマガジン」「賛助会員ニュース」はTeams掲示板へと順次移行いたします。

お早目のご登録をよろしくお願いいたします。

< 交流掲示板(Teams)登録方法 >

■利用規約（登録前に必ずお読みください）

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120502.pdf>



■登録マニュアル

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120503.pdf>



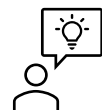
＼ 賛助会員サービス /



交流掲示板を使ったOCVB・賛助会員様からの相互情報発信



事業説明会・交流会、「新春の集い」への参加



コーポレートサイト等でのPRする場の提供



ご協力の程、
よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：

総務部 総務・経理課 賛助会員事務局

TEL：098-859-6124 MAIL：sanjo@ocvb.or.jp

●首都圏の沖縄イベント情報

【東京都】

・1/7(火)～2/28(金)

[第2弾『東京で全国旅気分～あなたの推しはどこですか?～』](#)／[銀座わしたショップ本店](#)ほか東京都内のアンテナショップ

・1/18(土)～19(日)

[与那国島 観光・芸能フェア](#)／[羽田エアポートガーデン](#)(羽田空港第3ターミナル直結)

・1/19(日) [「沖縄のこころ」平和啓発シンポジウム](#)／[JICA地球ひろば](#) 国際会議場

・1/25(土)～26(日) [第2回全国物産展 JAPAN SELECT 推しうま-けっと2024](#)／
[イオンモールむさし村山](#) 1F センターコート・ノースコート・サウスコート

・2/2(日) [東京泡盛会presents トーキョーアワモリム vol.8 泡盛文化祭](#)／[インテリジェントロビ-RUKO](#)

・2/5(水)～6(木) [第3回宿フェス2025](#)／[東京ビッグサイト](#) 東展示棟 第8ホール



●OCVB東京事務所近隣施設【東京シティアイ】さまより耳より情報

総合観光情報センター東京シティアイにて、2025年4月～5月のご利用募集中です！インフォメーションゾーン・パフォーマンスゾーン・レストゾーンの3つのゾーンを使ったイベントプロモーションが可能です。併設するカフェと連動してコラボメニューやサンプリング等もご利用いただけます。

東京駅丸の内南口より徒歩1分、平日約6万人、休日約3.5万人のお客さまが訪れるJPタワー・KITTE内にございます。ぜひご活用ください。



パフォーマンスゾーン



インフォメーションゾーン

【お問い合わせ先】[東京シティアイ](#) 営業開発課

TEL : 03-3217-2054 mail : eigy@tokyocity-i.jp

住所 : 千代田区丸の内2-7-2(東京駅丸の内南口より徒歩1分)



●OCVB東京事務所近隣施設案内

当事務所近隣にもイベントプロモーションでご利用いただける施設がございます。担当者もご紹介できますので、お気軽にお問い合わせください。



【[離島百貨店](#)】千代田区平河町2-16-9 永田町ガラスゲート5階

離島を中心とした全国の市町村、関係省庁や関連する企業と連携し、情報交換・事業構築（地域PJ連携プラットフォーム）生産者支援と国内外への販路開拓（離島百貨店）効果的・効率的な情報発信（離島百科）などをご活用いただけます。自治体のみなさまはご入会・年会費無料です。



【[BIRTH LAB](#)】港区麻布十番2-20-7 麻布十番高木ビル1F

麻布十番駅徒歩1分、最大定員50名のレンタルスペース。キッチン、テラス、ラウンジスペースがあり、多角的なプロモーションが可能です。これまでに複数の自治体にてシティブロモーションでの活用実績がございます。



【OCVB東京事務所の公式SNSサイト】

[Facebook](#)

[X](#)

フォロワー数 (2024/12/25時点)

X : 3,142人

Facebook : 4,204人



※写真はイメージです。※情報は変更になることがあります。



お問い合わせ先 : 東京事務所 (担当) 大嶋・土屋・青木
TEL : 03-5220-5311 E-mail : tokyo@ocvb.or.jp



（１）ブセナ海中公園×映画『ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会 完結編 第1章』 コラボステッカー配布中

ブセナ海中公園では、映画『ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会 完結編 第1章』とコラボしたステッカーを配布しております。ブセナ海中公園の海中展望塔は、劇中で彼方が訪れる場所にもなっています。他にも沖縄県内の観光地やグルメスポットが劇中で登場しており、ロケ地巡りする際には、是非ブセナ海中公園にもお越しください。

配布期間	2024年（令和6年）11月27日（水）～2025年（令和7年）3月31日（月） ※配布枚数に達し次第終了となります。
配布場所	ブセナ海中公園ビーチハウス（券売所）
配布条件	「海中展望塔」または「セット券（海中展望塔・グラスボート）」のチケット購入者に配布 ※ステッカーはチケットを購入した人数分での配布となります。
営業時間	【冬期（11月～3月）】 9：00～17：00（最終入場）※臨時休業日有 ※当日の天候や海の状況で営業できない場合がありますので、WEBサイトにて営業状況をご確認ください。 https://www.busena-marinepark.com/



ブセナ海中公園で配布する
ステッカーはこちら！

（２）令和6年度のブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組進捗について

ブセナ海中公園では、観光産業にとって重要な観光資源の1つであるサンゴ礁の再生・保全を目的に、サンゴの植付に取り組んでいます。令和4年度からアラムコ・アジア・ジャパン株式会社による沖縄県サンゴ礁保全推進協議会からの助成支援を受け、ザ・テラスホテルズ株式会社と共同でサンゴ植付を実施しており、今年度の取組進捗をご紹介します。なお、サンゴ植付実施にあたり、沖縄県の関係部局とも調整の上、実施しています。

ブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組

1

簡易設置型の着床具を利用した サンゴの植付



令和6年11月26日にシコロサンゴを簡易設置型の着床具に定着させる作業を行い、合計30群体のシコロサンゴを定着させました。
植付までの間、ブセナ海中公園海域で中間育成を行い、令和7年2月下旬以降に植付を予定しています。

2

海藻とサンゴの共生関係を利用したメッシュポットでの植付



令和6年12月23日にエダゴモンサンゴ合計30群体の植付を行いました。
植付で使用したエダゴモンサンゴはブセナ海中公園海域に生息するエダゴモンサンゴを採捕し、使用しています。

3

有性生殖を利用したサンゴの植付



ブセナ海中公園に生息するハナヤサイサンゴを採捕し、有性生殖を利用した植付を予定していましたが、今期夏場に続いた高水温の影響で、ハナヤサイサンゴやその他のサンゴ（ミドリイシ類）の多くが死滅しており、今年度は実施を見送ることとなりました。

お問い合わせ先：ブセナ海中公園事業所 TEL：0980-52-3379 E-mail：busena@ocvb.or.jp
営業時間：夏期（4～10月）9：00～18：00（最終入館17：30）冬期（11～3月）9：00～17：30（最終入館17：00）定休日：なし
*海況により営業中止あり

「県内在住者限定割引」実施中！ 施設観覧料20%割引

沖縄県民の皆様にご施設をご利用頂き、沖縄の魅力を再発見して頂きたいと思っています。賛助会員皆様のご利用を心よりお待ちしております。※県内在住を証明できる免許証等の身分証明書を、チケット購入時にご提示ください。



旧海軍司令部壕

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場（那覇空港）を守るために造った重要な軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあり、琉球王国時代には「火番森（ヒバンメイ）」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点でした。現在は市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。※現在大型遊具は再整備工事のため利用できません。

●いよいよ大型遊具の供用が始まります！！

今年の8月から始まった大型遊具の工事も着々と進み、2025年4月以降、大型遊具等完成した箇所から随時供用されることが決まりました。工事中の現在も海軍壕公園の遊具利用に関する問い合わせは多く、待ちに待った大型遊具の利用が間近に迫ってきました！なお、すべての遊具利用は2026年4月以降を予定しています。

2025年4月
供用開始！

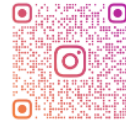


●現在利用可能な遊具（主に幼児用の遊具が利用可能です）



お問い合わせ先：旧海軍司令部壕事業所
営業時間：9：00～17：00（最終入館16：30）年中無休
TEL：098-850-4055 E-mail：kaigungo@ocvb.or.jp

SNSのフォローも
よろしく願います！



KAIGUNGO_OKINAWA

沖縄コンベンションセンター自主事業「海援隊 トーク&ライブ」開催決定！



1971年結成、2022年に結成50周年を迎えたフォークバンド「海援隊」。
結成時期の3人だけのアコースティックギター2本というフォークソングの原点ともいえるスタイルで全国の市町村をくまなく歩き、人との触れ合いを重ねています。金八先生の主題歌「贈る言葉」や、母子の絆を歌った「母に捧げるバラード」など、年代を問わず誰もが一度は口ずさんだ事のある心温まる楽曲に、金八先生でお馴染み、武田鉄矢による愉快でそしてホロリとさせるトークを添えてお届けします。

【海援隊 トーク&ライブ 公演概要】



日時：2025年3月9日（日） 開場15:00 / 開演16:00

会場：沖縄コンベンションセンター 劇場棟

出演：海援隊（武田鉄矢・中牟田俊男・千葉和臣）

主催：沖縄コンベンションセンター / QAB琉球朝日放送

企画：ネクストワン / ウィスパーム्यूジック

制作：アオイスタジオ / ピーエムエージェンシー

後援：ユニバーサルミュージック / ASTURIAS CONCERT
GUITARS ロックマン / 沖縄県 / 沖縄観光コンベンションビューロー

協力：武田鉄矢ファンクラブ / 沖縄コングレ

チケット料金：¥6,500（全席指定・税込）

※未就学児入場不可

プレイガイド：イープラス = <https://eplus.jp/kaientai/>

ローソンチケット = Lコード：81954

チケットぴあ = Pコード：284-409

沖縄コンベンションセンター（現金販売のみ）

お問合せ：沖縄コンベンションセンター（9:00～17:00）

TEL 098-898-3000

ピーエムエージェンシー（平日11:00～15:00）

TEL 098-898-1331

「海援隊 トーク&ライブ」詳細はコチラ → <https://www.pmnet.co.jp/live/2025/kaientai/>

お問い合わせ先：沖縄コンベンションセンター（OCC）

受付時間 9:00～17:00 休館日 年末年始・（他有） TEL：098-898-3000

FAX：098-898-2202

公式HP：<http://www.oki-conven.jp/> メール：info@oki-conven.jp

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 令和6年度MICE受入体制強化等事業 専門アドバイザー派遣	多様化したMICEのニーズに対応するため、専門アドバイザーを派遣し、MICE関連事業者が抱える課題解決をサポートする。 【課題例】 ・商品やサービスを主催者や旅行会社にPRする方法 ・既存コンテンツをMICE向けにするにはどうしたらよいか ・MICE受入時の対応方法について 【対象期間】 令和6年4月～令和7年2月末 ※予算上限に達し次第×切 【対象者】 沖縄県内の事業者 【派遣回数】 4回程度 【派遣料】 無料	全事業者	https://mice.okinawastory.jp/information/post-40678/	文化観光スポーツ部 MICE推進課 TEL098-866-2077

◇市町村(会員様数:41)

粟国村
伊江村
石垣市
伊是名村
糸満市
伊平屋村
浦添市
うるま市
沖縄市
恩納村
嘉手納町
北大東村
北中城村
宜野座村
宜野湾市
金武町
国頭村
久米島町
座間味村
竹富町
北谷町
渡嘉敷村
中城村
今帰仁村
那覇市
西原町
南大東村
与那原町
読谷村
八重瀬町
豊見城市
名護市
南城市
本部町
多良間村
東村
渡名喜村
与那国町
南風原町
大宜味村
宮古島市

◇観光協会等(会員様数:36)

一般社団法人石垣市観光交流協会
一般社団法人糸満市観光協会
一般社団法人浦添市観光協会
一般社団法人うるま市観光物産協会
NPO法人おおぎみまるとりずみ協会
一般社団法人沖縄市観光物産振興協会
一般社団法人久米島町観光協会
一般社団法人北谷町観光協会
一般社団法人豊見城市観光協会
公益財団法人名護市観光協会
NPO法人東村観光推進協議会
一般社団法人南大東村観光協会
与那国町観光協会
一般社団法人ヨロン島観光協会
一般社団法人恩納村観光協会
一般社団法人座間味村観光協会
一般社団法人南風原町観光協会
一般社団法人宜野座村観光協会
一般社団法人今帰仁村観光協会
一般社団法人那覇市観光協会
一般社団法人宮古島観光協会
一般社団法人本部町観光協会
一般社団法人読谷村観光協会
一般社団法人南城市観光協会
一般社団法人金武町観光協会

一般社団法人いげな島観光協会
一般社団法人八重山ビジターズビューロー
一般社団法人北中城村観光協会
一般社団法人宜野湾市観光振興協会
一般社団法人粟国村観光協会
一般社団法人伊江島観光協会
一般社団法人中城村観光協会
一般社団法人多良間村ふしやめふ観光協会
一般社団法人大宜味村観光協会
嘉手納町観光協会
一般社団法人伊平屋島観光協会

◇各種団体(会員様数:39)

沖縄県商工会連合会
那覇商工会議所
沖縄県飲食業生活衛生同業組合
宜野湾市商工会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会
JA沖縄中央会
沖縄県舞台運営事業協同組合
一般財団法人沖縄美ら島財団
公益社団法人日本青年会議所沖縄地区協議会
西日本高速道路株式会社・九州支社・沖縄高速道路事務所
一般社団法人沖縄旅客船協会
一般社団法人沖縄県レンタカー協会
一般社団法人全国個人タワシー協会 沖縄支部
OTSパートナーズネットワーク
JTBレキオス会
日本旅行沖縄赤い風船会
阪急交通社国内旅行推進協会 沖縄支部
沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
KNT-CTパートナーズ会沖縄連合会
JTB協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会
農協観光協定旅館ホテル連盟・協力みのり会 沖縄県支部
一般社団法人沖縄県サッカー協会
一般社団法人沖縄県ホテル協会
沖縄県酒造協同組合
公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会
一般社団法人日本旅行業協会 沖縄支部
名鉄観光協定旅館ホテル連盟 沖縄支部会
一般社団法人美ら島観光施設協会
沖縄県エステティック・スパ協同組合
一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
一般社団法人全国旅行業協会 沖縄県支部
一般財団法人沖縄マリンレジャービューロー
一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
沖縄県酒造組合
一般社団法人沖縄県バス協会
日本旅行協定旅館ホテル連盟 沖縄支部連合会
一般社団法人沖縄県経営者協会
一般社団法人地方創生パートナーズネットワーク

◇マスコミ(会員様数:9)

琉球朝日放送株式会社
琉球放送株式会社
株式会社ラジオ沖縄
株式会社沖縄タイムス社
株式会社琉球新報社
有限会社沖縄観光速報社
沖縄テレビ放送株式会社
株式会社RBCビジョン
ダイバー株式会社

◇運輸・交通(会員様数:25)

株式会社ソラシドエア
全日本空輸株式会社 沖縄支店
琉球エア・コミュニーター株式会社
イクセル航空株式会社
琉球海運株式会社
沖縄バス株式会社
中部観光バス株式会社
株式会社北部観光バス
株式会社小禄運輸 観光バス事業部おろくバス
有限会社カー観光
株式会社沖一ハイヤー
有限会社ウエストマリン
沖縄都市モノレール株式会社
東陽バス株式会社
有限会社美ら島 美ら島観光バス
沖東交通事業協同組合
三和交通株式会社
伊江島観光バス株式会社
スカイマーク株式会社
株式会社琉球バス交通
日本航空株式会社 沖縄支店
日本トランスオーション航空株式会社
マリックスライン株式会社
沖縄NXエアカーゴサービス株式会社
東京バス株式会社

◇旅行(会員様数:53)

株式会社エイチ・アイ・エス沖縄
有限会社沖縄スカイ観光サービス
沖縄ツーリスト株式会社
クラブツーリズム株式会社
KNT-CTホールディングス株式会社
株式会社国際旅行社
国際旅運株式会社
株式会社進吾(ジノ) JINOTOUR
株式会社JAL JTAセールス
株式会社ジェイトリップ
株式会社ジャパンホリデートラベル
株式会社ジャンボツアーズ
株式会社日本旅行沖縄
株式会社阪急交通社
株式会社ホワイト・ベアファミリー
楽天株式会社
平田観光
株式会社リウボウ旅行サービス
漫遊沖縄株式会社
日新航空サービス株式会社
株式会社中央ツーリスト
T-LIFEホールディングス株式会社
株式会社ミットトレーディング
沖縄JTB株式会社

株式会社スカイツアーズ
株式会社東亜旅行社
株式会社万栄商事
e旅遊株式会社
株式会社たびのレシビ 沖縄支店
株式会社EGL OKINAWA
株式会社富士ツーリスト
株式会社結トラベル
バイオニア合同会社
ラド観光株式会社 沖縄営業所
株式会社セルリアンブルー
株式会社ジャンルック
株式会社J-NABI
東武トップツアーズ株式会社 沖縄支店
株式会社JSC
株式会社HANATOUR JAPAN
株式会社信恒商事
Ever Green Travel株式会社
株式会社嘉翔ツーリズム
ヒルトン・グランド・パケーションズ
オリオンツアー
株式会社SEEC
WAmazing株式会社
グランシーノ株式会社
株式会社旅工房沖縄
株式会社SeaSky
やんばるツーリスト
Japan Travel Arrangments(株式会社日豊)
WebBeds FZ LLC

◇レンタカー・レンタルバイク(会員様数:18)

オリックス自動車株式会社
有限会社なはレンタカー
株式会社フジレンタカー
株式会社イービーシーサービス ABCレンタカー
イン・リンク株式会社
有限会社ウイリー
沖縄輪業株式会社
有限会社サキハマ
株式会社日産レンタリース沖縄
スカイレンタリース株式会社
ニッポンレンタカー琉球株式会社
有限会社TM.Planning
株式会社R&A (沖縄プレミアムレンタカー)
HVレンタリース株式会社
株式会社トヨタレンタリース沖縄
株式会社セレブ セレブレンタカー
ヒートスポーツレンタカー
イーチャリティ那覇国際通本日本店/
Discovery Bicycle Tours Okinawa

◇金融・流通・建設・配送(会員様数:15)

有限会社島運送
有限会社小川保険事務所
株式会社おきぎんジェーシービー
株式会社沖縄海邦銀行
大同火災海上保険株式会社
株式会社琉球銀行
株式会社南海エクスプレス 沖縄営業所
沖縄振興開発金融公庫
琉球通運株式会社
株式会社大林組 沖縄営業所

◇マリネジャー・スポーツ(会員様数:18) ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコーディアAH02) かねひで喜瀬カントリークラブ 株式会社シーサー (マリンハウスシーサー) 有限会社トップマリン残波 TOTAL MARINE SPOT NEWS 有限会社ぶしいぬしま mic21株式会社 アプリシエイト 有限会社タイド 一般財団法人健康科学財団 株式会社パティ・アジア・パンフィックジャパン 株式会社シーポワール (マリンクラブUMI) 株式会社ベイスオブスポーツ 株式会社南洋社中 (沖縄海あしび) 株式会社NASH 株式会社ブルーフィールド ダイビングサービスジャミング 有限会社やんばる自然塾	◇卸・小売・販売(会員様数:30) オリオンビール株式会社 くうすの社 忠孝蔵 まさひろ酒造株式会社 株式会社サンエー 株式会社ブラザハウス 株式会社奥原商事 バイブニット株式会社 笹尾商工株式会社アウトドアショップNEOS 沖縄食糧株式会社 オキコ株式会社 株式会社フジタクリエイション 株式会社チレオ沖繩 株式会社JTB商事 株式会社沖縄伊藤園 サントリーフーズ沖縄株式会社 株式会社サッポロドラッグストアー 株式会社ホクガン 株式会社ジュネ 福山商事株式会社 有限会社比嘉酒造 瑞泉酒造株式会社 株式会社ジムキ文明堂 株式会社久米島の久米仙 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 コジマ×ビックカメラ那覇店 株式会社CHKIT 株式会社エス・ティ商事 (株)サガミトレーディングオキナワ ecowana シヤチハタ株式会社	◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:9) 株式会社リクルートライフスタイル沖縄 有限会社オフィスアイシーシー 株式会社ブレンティ 株式会社沖繩リレーションシップ 株式会社チャイナゲートウェイ 株式会社マイナビ 沖縄支社 株式会社沖繩コングレ 株式会社アールアールシー 株式会社サポートスタッフ沖縄	株式会社ビジネスランド 琉球警備保障株式会社 株式会社りゅうせき 医療法人タビク 株式会社オリエタルコンサルタンツ 沖縄支社 株式会社沖繩ダイケン 有限会社沖繩花火 株式会社住太郎ホーム 株式会社沖繩第一興商 株式会社地域ブランディング研究所 (Attractive JAPAN) 株式会社ネオックスワン 美浜リアルエステート株式会社 リゾートベビーシッターサービス ワールドキッズ 沖縄の風合同会社 吉本興業株式会社(よしもとエンタテインメント沖縄) レンタル琉装veni NPO法人那覇市街角ガイド 日琉リネンサプライ株式会社 沖縄体験ニライカナイ 沖縄アリーナ株式会社 株式会社イノアック琉球 株式会社東洋設備 有限会社朝日興業企画 株式会社INFORICH
◇イベント・ウエディング・舞台関係(会員様数:12) 沖縄ワタベウエディング株式会社 株式会社ブライダルハウスチュウ沖縄 有限会社池宮商事 株式会社沖縄ハートス 株式会社琉球広報 有限会社サウスエリア 有限会社インプレスト 株式会社ブリックス かりゆしウエディングANNE 株式会社ケイタープランニング サニーズウエディング 一般社団法人沖縄リゾートウエディング協会	◇学術・研究・コンサル(会員様数:6) 株式会社おきぎん経済研究所 株式会社DUO 株式会社エス・ピー・ネットワーク沖縄営業所 株式会社りゅうぎん総合研究所 公益財団法人日本交通公社(JTBF) オフィスKIBOU株式会社	◇企業・その他(会員様数:40) あいあいケーティング沖縄(株)アメリテイ 株式会社アイレント IMAGE 株式会社アルファースリー 沖縄ガス株式会社 沖縄セルラー電話株式会社 富士フィルムBI沖縄株式会社 沖縄総合警備保障株式会社 沖縄綿久寝具株式会社 株式会社DMC沖縄 株式会社桃原農園 那覇空港ビルディング株式会社 株式会社日進商会(MAJJUN OKINAWA)	

OCVB 賛助会員募集中!

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

- 迅速な情報提供**
- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
- ②月1回発行「OCVB News」早期配信

- 各種イベントのご案内**
- ①OCVB事業説明会・交流会
- ②OCVB新春の集い
- ③各種講演会、セミナーの開催

●年会費
基本会費：1口 50,000円

●賛助会員制度について
お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局
TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>

- PRする場のご提供**
- ①OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
- ②OCVB交流サロンならびに東京事務所パンフレットラックの利用(無料)
- ③OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内におけるパンフレットデータの公開



＼より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。／

<https://forms.office.com/r/gZgifHRRMa>

